

# **USER'S MANUAL**

ブロードバンドサーバ

# **FSR-07**

**PLANEX COMMUNICATIONS INC.**



# **USER'S MANUAL**

ブロードバンド サーバ

**FSR-07**

# 本製品を安全にお使いいただくために

## 警告

本製品をご利用の際は、以下の注意点を必ずお守りください。これらの事項が守られない場合、感電、火災、故障などにより使用者の重傷または死亡につながるおそれがあります。

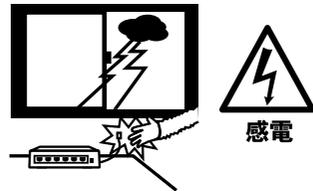
### 分解・改造・修理はダメ！

各部のネジを外したり、カバーを開けたりしないでください。また製品内部の部品を改造・交換しないでください。感電や火災につながるおそれがあります。



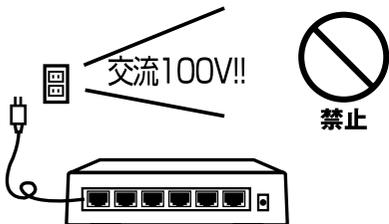
### 雷のときはさわらないで！

雷が発生している間は、製品各部およびケーブルにさわらないでください。感電するおそれがあります。



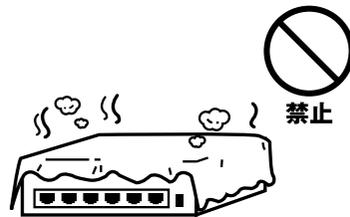
### 正しい電圧で使用して！

指定の電圧以外で使用すると誤動作や火災につながるおそれがあります。



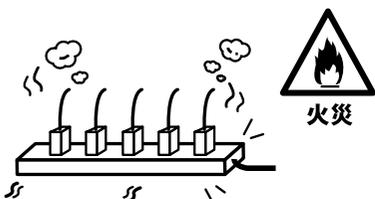
### 通気口をふさがないで！

内部に熱がこもり、誤動作や火災につながるおそれがあります。



### タコ足配線・無理な配線はダメ！

コンセントや電源タップの定格を超えて電気製品を接続すると、発熱し火災につながる危険があります。



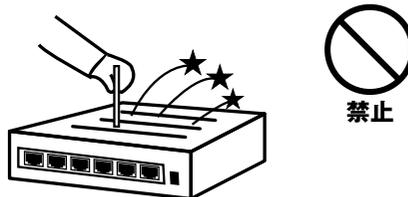
### 電源コードをつけて移動しないで！

本製品を設置・移動する際は、必ず電源コードを前もって抜いておいてください。電源コードを入れたまま移動し、コードが傷つくと誤動作や火災につながるおそれがあります。



## 液体・異物は入れないで！

製品内部に液体や異物が入ると、ショートして火災が発生したり、誤動作したりする可能性があります。万一異物や液体が入ってしまった場合は、電源コードをコンセントから外して弊社サポートセンターまでご連絡ください。



## 電源コードは傷つけないで！

火災・感電につながるおそれがありますので、電源やACアダプタのコードは絶対に加工したり傷つけたりしないでください。また以下の点を守ってコードを傷めないようにしてください。

- ◇コードの上に物を載せない
- ◇熱源の側にコードを置かない
- ◇コードをかじる癖のあるペットは隔離する  
(かじった部分からショートし発火する危険があります)



## 設置・保管場所をもう一度確認して！

以下の場所での本製品のご利用や保管は避けてください。これらの場所で設置・保管を行うと誤動作や感電、火災につながる危険があります。

- ・本製品が落下する可能性のある不安定な場所
- ・直射日光のあたる場所
- ・高温または多湿の場所（暖房器具の側も含む）
- ・急激に温度変化する可能性のある場所（結露のおそれがある所）
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所
- ・静電気を帯びやすい場所（絨毯の上も含む）
- ・腐食性のガスが発生する場所



## ◎おねがい

本製品のお手入れ

- ・本製品のお手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。
- ・汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布を浸し、かたく絞って本製品を拭いてください。また最後に乾いた布で軽く拭いてください。
- ・台所用中性洗剤以外は使わないでください。シンナーやベンジン、ワックス、アルコールが入ったものは使用できません。

# このマニュアルの構成

本マニュアルはブロードバンドサーバ FSR-07の概要および使用方法について説明します。本マニュアルの構成は以下のようになっています。マニュアル記載中に特に表記の無い項目は全てFSR-07を説明しています。

## ◆ 必ずお読みください ◆

### 第1章 はじめに

本製品の概要と各部の名称について説明します。必ずお読みください。

### 第2章 インストール

本製品の設置方法およびネットワークへの接続方法について説明します。必ずお読みください。

## ◆ ご使用方法 ◆

### 第3章 Windowsからのセットアップ

ユーティリティ CD-ROMに添付のソフトウェア「Disk Server Utility」を使って本製品のセットアップを行います。本製品の基本機能のみをご使用される場合は、この章の設定を行うだけで作業は完了です。

### 第4章 Macintoshからのセットアップ

Macintoshから本製品のセットアップを行う場合の手順について説明します。セットアップは、Webブラウザを使用して行います。(添付のソフトウェア「Disk Server Utility」はWindows専用のため、Macintoshから「Disk Server Utility」を使用して本製品のセットアップを行うことはできません。)

### 第5章 管理

Webインターフェースを使用して、本製品の詳細な設定、管理を行う方法を説明します。(Windowsユーザ、およびMacintoshユーザ)

### 第6章 インターネットアクセス機能

インターネットへの接続方法の他、フィルタリング、スペシャルアプリケーション、バーチャルサーバなど高度な機能の設定方法について説明します。

### 第7章 Windowsクライアントのセットアップ

Windowsクライアントの設定について説明します。

### 第8章 Macintoshクライアントのセットアップ

Macintoshクライアントの設定について説明します。

## 付録

### 付録A トラブルシューティング

「トラブルかな?」と思われる場合の対応方法について説明します。

### 付録B 製品仕様

本製品の仕様について説明します。

《マニュアル内の表記について》

本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。

区別が必要な場合は製品型番で表記します。

No.PMN-01-06-JF-FSR-07

User's Manual Ver.1.0

# 目次

<b>本製品を安全にお使いいただくために</b>	2
<b>第1章 はじめに</b>	
1. 概要	7
2. 特長	7
3. 梱包内容の確認	9
4. 各部の名称	9
5. 内蔵ブザーについて	11
6. 縦置きスタンドの取付方法	11
<b>第2章 インストレーション</b>	
1. 必要環境	13
2. ネットワーク機器の接続	13
3. モデムの接続	14
4. プリンタの接続	15
5. 電源アダプタの接続と起動	15
<b>第3章 Windowsからのセットアップ</b>	
1. ソフトウェア ( Disk Server Utility ) のインストール	17
2. Disk Server Utilityを使用する	18
3. 本製品の詳細設定について	22
<b>第4章 Macintoshからのセットアップ</b>	
1. 本製品へのログイン	23
2. 本製品のネットワーク設定	24
3. プリントサーバ機能の設定	25
<b>第5章 管理</b>	
1. 概要	27
2. WEBインターフェース	27
3. 本製品に接続する	28
4. メインメニュー	29
4-1. Configuration	29
4-2. Storage Management	31
4-3. 共有、グループおよびユーザの管理	31
4-4. 共通管理タスク	33
4-5. プリンタおよび印刷の管理	34
<b>第6章 インターネットアクセス機能</b>	
1. 概要	37
2. ベーシックセットアップ	37
3. フィルタリング	38
4. スペシャルアプリケーション	40
5. バーチャルサーバ	41

<b>第7章 Windowsクライアントのセットアップ</b>	
1. 概要	43
2. TCP/IPの設定	43
3. ネットワークログオン	45
4. 本製品上のディスク領域を使用する	46
5. 本製品に接続したプリンタを使用する	47
6. 本製品からインターネットに接続する	47
<b>第8章 Macintoshクライアントのセットアップ</b>	
1. 概要	49
2. TCP/IP	49
3. 本製品内蔵ディスクにアクセスする	49
4. 本製品に接続されているプリンタを使用する	50
5. 本製品からインターネットに接続する	50
6. パスワードの変更	50
<b>付録A トラブルシューティング</b>	
1. Windows編	51
2. Macintosh編	53
3. インターネット接続関連	54
<b>付録B 製品仕様</b>	57

## はじめに

## 1. 概要

本製品は、既設のLAN上に接続して簡単な設定を行うだけでWindows/Macintoshユーザに対し、ストレージ共有、プリンタ共有およびインターネットへの共有アクセスなどのサービスを提供します。

本製品は、7ポートスイッチングハブを内蔵したディスクサーバです。10BASE-T/100BASE-TX自動認識のLANポートを7ポート搭載するほか、アナログモデム/TA(ターミナルアダプタ)接続用のシリアルポートを1ポート、さらにADSLモデム/CATVケーブルモデム接続用のWANポートを1ポート提供します。

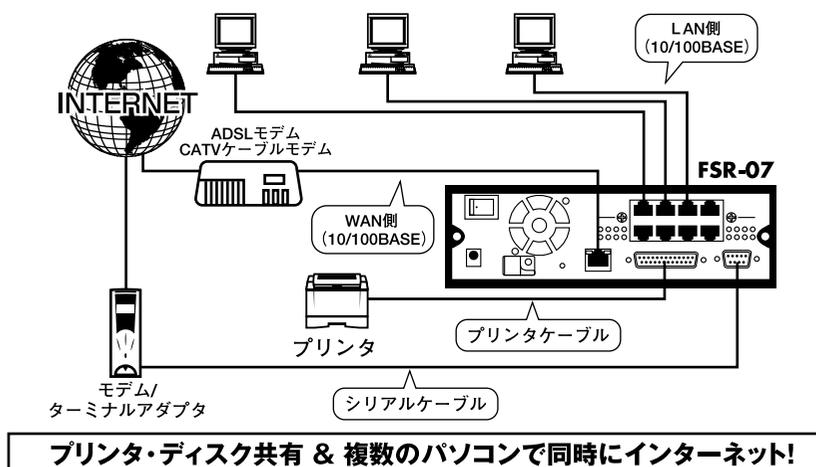


図1-1 FSR-07接続図

## 2. 特長

## LANの構築・拡張が可能

IEEE802.3 10BASE-TおよびIEEE802.3u 100BASE-TXの両規格に対応しています。また他のハブとのカスケード接続用のUplinkポートを装備しているため、容易に既存ネットワークの拡張が行えます。

## Windows/Macintoshの混在環境に対応

Windows PC(Windows 95/98/Me/NT3.51/NT4.0/2000)、Macintoshのどちらのクライアントも接続可能です。

## プリントサーバ機能を内蔵

Windows/Macintoshを問わず、LAN上のすべてのユーザが本製品に接続されているプリンタを共有できます。通常のローカルプリンタをネットワークプリンタとしてご使用いただけます。

## クライアント側のソフトウェアは不要

どのクライアントも、別途クライアント用のソフトウェアをインストールする必要はありません。

## OS標準ツールを使った簡単なファイル管理

いったん本製品と接続した後は、ご使用のOSの標準的なツールを使用してファイルやフォルダの管理が行えます。例えばWindowsユーザの場合、本製品は「マイコンピュータ」または「エクスプローラ」上で新規ドライブとして表示されます。

## DHCPサーバクライアント機能

DHCPサーバとは、利用可能なIPアドレスをコンピュータおよび各機器に自動的に割り当てるサーバのことです。IPアドレスの割り当てを要求する各機器は「DHCPクライアント」と呼びます。本製品はDHCPサーバとしてご使用いただけるほか、DHCPクライアントとしても機能します。

### ディスク使用の管理

管理者は、本製品上のディスクの使用を以下の方法で制御できます。

#### 「ユーザ」

パスワードで本製品にアクセス可能なユーザを制限できるほか、各ユーザが利用可能なディスク容量を制限できます。

#### 「グループ」

ユーザは何らかのグループに割り当てられます。一人のユーザが複数のグループに所属することも可能です。

#### 「共有」

共有とは、ユーザグループがアクセスできる本製品上のフォルダ(ディレクトリ)を指します。共有は、本製品の管理者のみ作成可能です。(ユーザによる共有内部でのフォルダ作成は可能です)

#### 「アクセス権」

共有へのアクセス権は「Read Only(参照のみ)」、「Read-Write(参照・書き込み可能)」、「No Access(アクセス不可)」のいずれかを設定できます。共有へのアクセス権は各ユーザ単位ではなく、グループ単位で設定するようになっています。

Macintoshからは「Read Only(参照のみ)」の設定はできません。

### リモート管理

本製品は、LAN上のどのコンピュータからでもWEBブラウザを使用して管理できるようになっています。

### インターネット接続の共有

LAN上の全ユーザで単一のインターネットアカウントを共有し、インターネットにアクセスすることが可能です。インターネットアクセスにはシリアルポートを使用した、アナログモデム/ISDN TA(ターミナルアダプタ)によるダイヤルアップ接続か、WANポートを使用したADSLモデム/CATVケーブルモデム等によるブロードバンド接続のいずれかを使用します。また、簡易ファイアウォールを内蔵しているため、外部の攻撃からLANを守ります。

### PPPoE接続に対応

WANポートを使用したインターネット接続の場合はPPPoE(Point to Point over Ethernet)接続にも対応しています。NTT(東日本・西日本)の「フレッツ・ADSL」や東京めたりっく通信の「Single」サービス等のPPPoE接続を使用したサービスにも対応可能です。

### アドバンスド・インターネット機能

インターネット接続時に以下の機能を使用することができます。

#### 「スペシャルアプリケーション」

ビデオ会議、インターネット電話、ゲームサーバおよびその他双方向インターネットアプリケーションを含む、通常NAT環境では使用できない、特殊なアプリケーションをLANユーザから利用できるようにします。

### バーチャルサーバ

LAN上のWEBサーバ、メールサーバ、FTPおよびその他サーバをインターネット上のユーザからアクセスできるようにします。

### サイトフィルタ

LAN上のユーザが不適切なWEBサイトにアクセスできないようにアクセス制限を行います。アクセスを「許可」ないし「拒否」するサイトのリストをそれぞれ管理者側で独自に作成できます。付属のログ機能は、フィルタにより遮断されたアクセスをすべて記録します。

### 3. 梱包内容の確認

パッケージに以下の付属品が含まれていることを確認してください。

FSR-07本体  
 ACアダプタ  
 電源ケーブル  
 縦置き用スタンド×2個  
 LANケーブル(UTPストレート、1m)  
 ユーティリティCD-ROM  
 このユーザーズマニュアル  
 保証書

不足品がある場合は、販売店または弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

### 4. 各部の名称

#### 前面パネル

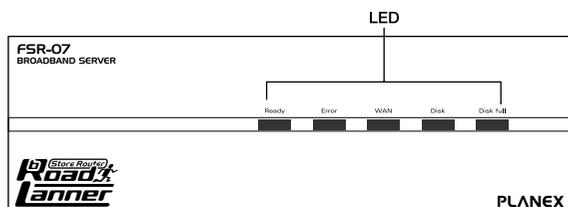


図1-2 前面パネル

本製品の前面パネルには以下の5つのステータスLEDが搭載されています。

#### 「Ready LED」

本製品の動作中は点灯しています。また起動中およびシャットダウン中は点滅します。シャットダウンが完了すると消灯します。

#### 「Error LED」

通常は消灯しています。電源投入時の自己診断中は点灯し、自己診断が完了すると消灯します。診断完了後も点灯している場合は、ハードウェアエラーが発生している可能性があります。

なお、ファームウェアのアップグレード中はReady/Errorの両方のLEDが点滅します。

#### 「WAN LED」

WANポート経由でデータの送受信中は点滅します。

#### 「Disk LED」

内蔵ハードディスクにアクセス中は点滅します。

#### 「Disk full LED」

通常は消灯しています。内蔵ハードディスクの使用率が98%を超えると点滅します。またハードディスクの空き容量がなくなると点灯します。この場合は、ハードディスク上の不要なファイルを削除して空き容量を確保してください。

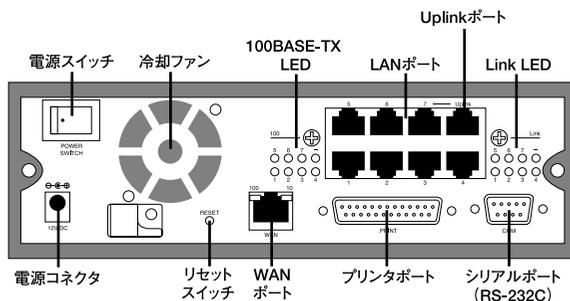


図1-3 背面パネル

**「電源スイッチ」**

電源が入っていない状態で押すと電源が入ります。電源が入っている状態で押すと、ディスクのシャットダウン処理を開始します。シャットダウン中はReady LEDが点滅します。

**「LANポート」**

コンピュータやその他の機器を接続するためのRJ-45ポートです。10BASE-T/100BASE-TXを自動認識します。

**「Uplinkポート」**

他のハブをカスケード接続するためのポートです。

**「100BASE-TX LED」**

各LEDは、LANポートにそれぞれ対応しています。対応するLANポートが100BASE-TXでリンクが確立するとLEDが点灯します。10BASE-Tでリンクが確立した場合LEDは点灯しません。

**「Link LED」**

各LEDは、LANポートにそれぞれ対応しています。対応するLANポートでリンクが確立すると点灯します。

**「電源コネクタ」**

付属のACアダプタを接続します。

**「リセットスイッチ」**

本製品のIPアドレスまたはパスワードを忘れてしまった場合は、このボタンを押してこれらの情報を初期化することが可能です。初期化を行う場合は、本製品の電源が入っている状態でこのボタンを1回押してください。操作に成功すると、ピープ音が1回鳴ります。操作後、パスワードおよびIPアドレスがデフォルト(パスワード: password、IPアドレス: 192.168.1.1、サブネットマスク: 255.255.255.0)に戻ります。

**「WANポート」**

ADSLモデムまたはケーブルモデムを接続するためのRJ-45ポートです。10BASE-T/100BASE-TXを自動認識します。100BASE-TXでリンクが確立すると左側のオレンジ色のLEDが点灯します。10BASE-Tでリンクが確立すると右側の緑色のLEDが点灯します。

**「プリンタポート」**

プリンタを接続するためのD-SUB 25ピンセントロニクスパラレルポートです。このポートに接続されたプリンタは、ネットワークプリンタとしてWindows/Macintoshユーザから共有することが可能です。

**「シリアルポート」**

アナログモデムまたはISDN TA(ターミナルアダプタ)を接続するためのD-SUB 9ピンシリアルポート(RS-232C)です。ダイヤルアップ接続を使用してインターネット接続の共有を行う場合は、このポートにアナログモデムまたはISDN TAを接続してください。

## 5. 内蔵ブザーについて

本製品はブザーを内蔵しており、本製品が特定の状態にあるときにピープ音により以下のような通知を行います。

ピープ音×1回：リセットボタンが電源スイッチが押されたことを示します。

ピープ音×2回(5秒ごとに1分間)：本製品がDHCPクライアントに設定されているにも関わらず、DHCPサーバから応答がないことを示します。DHCPサーバが正常に動作していることを確認してください。

ピープ音×3回(15秒ごとに3分間)：ハードディスクの使用率が全容量の98%を超えています。

ピープ音×5回(15秒ごとに3分間)：本製品内部の温度が正常動作範囲を超えています。最初のピープ音から3分後に自動的にシャットダウンします。

## 6. 縦置きスタンドの取付方法

本製品は縦置きでの使用も可能となっております。縦置きでご使用される場合は、以下の手順で付属のスタンドを取り付けてください。

本体に装着されているプラスチック製のフック(2箇所)を取り外す。

付属のスタンドを本体に取り付ける。

取り外したプラスチック製のフックを再度、本体に取り付け固定する。

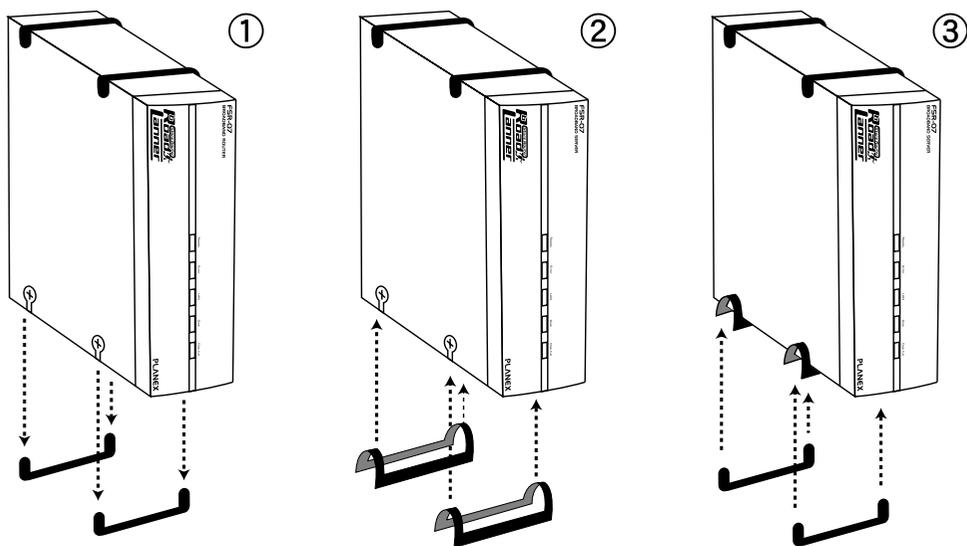


図1-4 縦置き用スタンドの取付け手順

### ⚠ 注意

本製品を縦置きにする場合、必ず添付のスタンドを使用し安定した場所に設置して下さい。また、スタンドの取付けの際は、必ずプラスチックのフックを取り付け、スタンドが外れないよう固定して下さい。



# インストール

## 1. 必要環境

### コンピュータ機器

本製品は、以下のいずれかのコンピュータに対応しています。

Windows 95/98/ME/NT/2000を搭載し、Ethernet(RJ-45)ポートを装備したコンピュータ

MacOS7.5以降を搭載し、Ethernet(RJ-45)ポートを装備したMacintosh

### ネットワーク機器

本製品では、以下のネットワーク機器が必要となります。

ストレートタイプのLANケーブル(UTPまたはSTP)

10BASE-T/100BASE-TX ハブまたはスイッチ(本製品に7台以上のネットワーク機器を接続する場合に必要)

## 2. ネットワーク機器の接続

ストレートタイプのLANケーブル(UTPまたはSTP)を使用して、LANに接続するすべての機器を本製品のLANポートに接続してください。本製品のLANポートはAutonegotiation機能により転送速度(10BASE-T/100BASE-TX)および転送モード(全二重/半二重)を自動認識します。

本製品に7台以上のネットワーク機器を接続する場合は、図2-1のようにストレートタイプのLANケーブル(UTPまたはSTP)を使用し、本製品のUplinkポートに他のハブ(スイッチ)を接続してください。Uplinkポート使用時はポート7を使用することはできませんのでご注意ください。

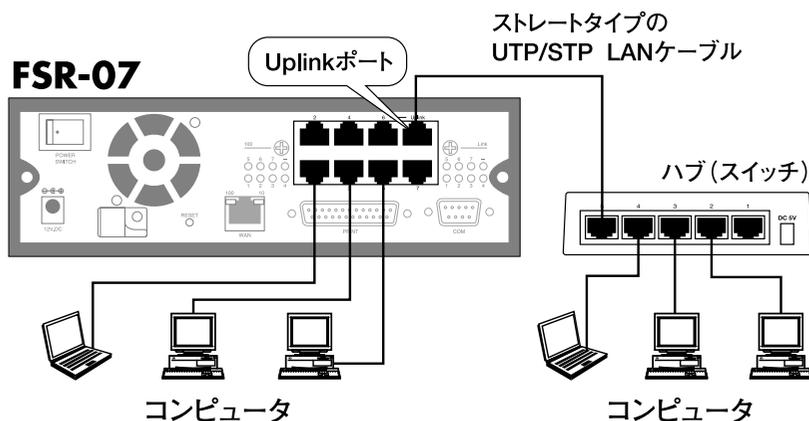


図2-1 ハブ(スイッチ)を接続する場合

### ⚠ 注意

10BASE-Tでの接続にはカテゴリ3以上、100BASE-TXでの接続にはカテゴリ5以上のツイストペアケーブルを使用してください。

### 3. モデムの接続

本製品を使用してインターネットへの接続を共有する場合は、次の手順でモデムを接続してください。

ADSLモデムまたはケーブルモデムを使用する場合  
 ADSLモデムまたはケーブルモデムを使用する場合は、ストレートタイプのLANケーブル(UTPまたはSTP)で、本製品背面のWANポートとADSLモデムまたはケーブルモデムのRJ-45ポートを接続してください。

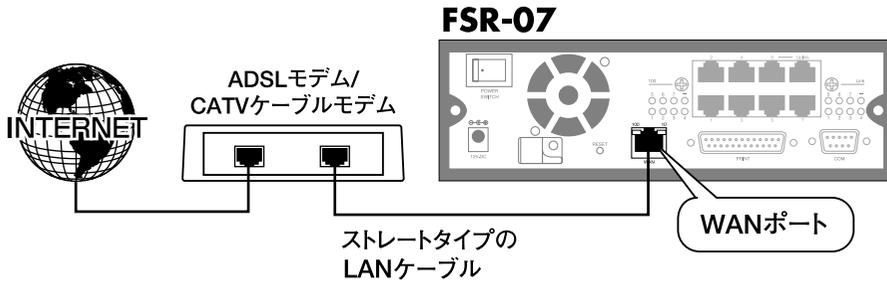


図2-2 ADSLモデム/ケーブルモデムの接続

#### ⚠ 注意

ADSLモデム/ケーブルモデムの種類によっては、本製品と接続する際にストレートケーブルでなく、クロスケーブルを必要とするものもあります。詳細はお手持ちのADSLモデム/ケーブルモデムのマニュアルを参照してください。

アナログモデムまたはISDN TA(ターミナルアダプタ)を使用する場合  
 アナログモデムまたはISDN TAを使用する場合は、モデムに付属、もしくは市販のDOS/V機用のシリアルケーブル(RS-232C)を使用して、本製品のシリアルポートに接続してください。

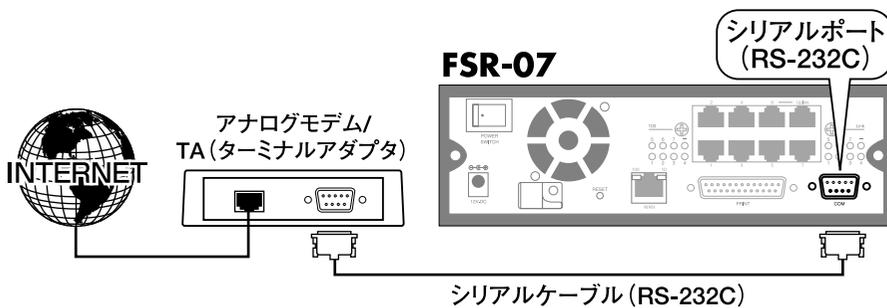


図2-3 アナログモデム/ISDN TAの接続

## 4. プリンタの接続

本製品を使用してプリンタの共有を行う場合は、DOS/V機用のプリンタケーブルを使用してご使用プリンタを本製品のプリンタポートに接続してください。

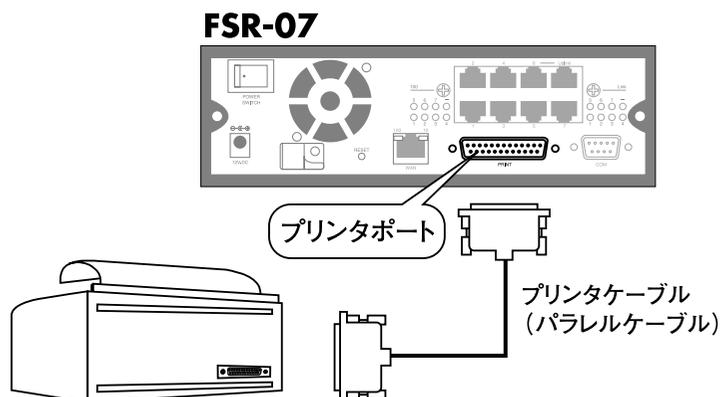


図2-4 プリンタの接続

## 5. 電源アダプタの接続と起動

- 1.付属のACアダプタを本製品の電源コネクタに接続し、ACアダプタと電源ケーブルを接続します。電源ケーブルのプラグをAC100Vコンセントに差し込んでください。
- 2.本製品背面の電源スイッチを押してください。これで本製品が起動します。
- 3.次の起動プロセスが開始されます。

自己診断テストが始まります。自己診断中(2~3秒)はすべてのLEDが点灯します。

起動処理が開始されます。この間、Ready、Error、Disk Fullの各LEDが点滅します。

正常に起動が完了すると、Ready LEDが点灯し、Error LEDは消灯します。Error LEDが点灯し続ける場合はハードウェアに問題が発生している可能性があります。またピープ音が繰り返し発生する場合は、起動が正常に行われていない可能性があります。これらの異常が認められた場合は、弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

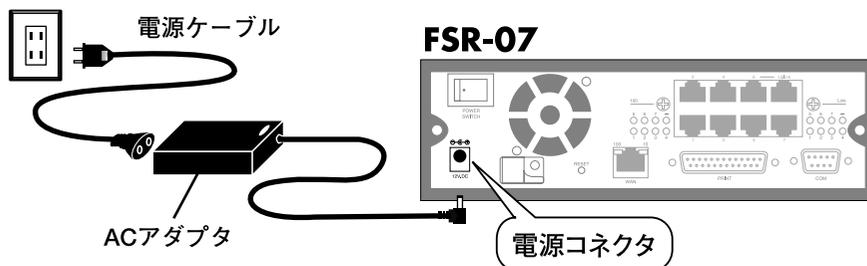


図2-5 電源の接続



# Windowsからのセットアップ

**こ**こではWindowsコンピュータから本製品のセットアップを行う場合の手順について説明します。本製品の基本機能のみをご使用の場合は、本章内の設定を行うだけで作業は完了です。ネットワーク管理者用の作業も含め、本製品の全機能を使用する場合は第5章「管理」をご覧ください。

## 1. ソフトウェア (Disk Server Utility) のインストール

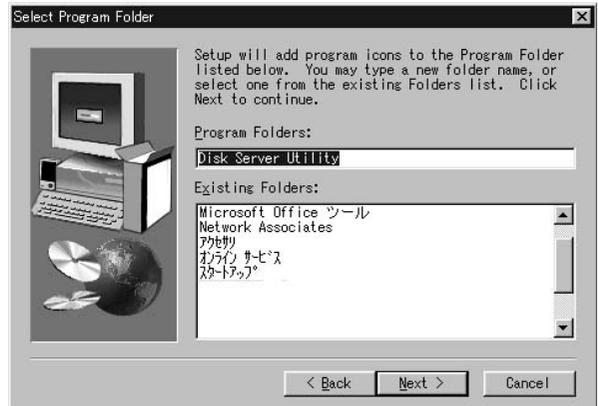
1. 本製品付属のユーティリティCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットしてください。なお利用可能なコンピュータはWindows 95/98/Me/NT3.51/NT4.0/2000の動作するコンピュータです。
2. セットアッププログラムが自動的に起動します。起動しない場合は、CD-ROMドライブのUtilityフォルダにあるSETUP.EXEファイルをダブルクリックしてプログラムを起動してください。
3. 次のような画面が表示されます。「Next >」ボタンをクリックしてください。



4. 次のような画面が表示されます。インストール先を変更したい場合は「Browse」ボタンをクリックしてインストール先を指定してください。「Next >」ボタンをクリックしてください。



5. 次のような画面が表示されます。プログラムフォルダの名前を変更したい場合は、フォルダ名を入力してください。「Next >」ボタンをクリックしてください。



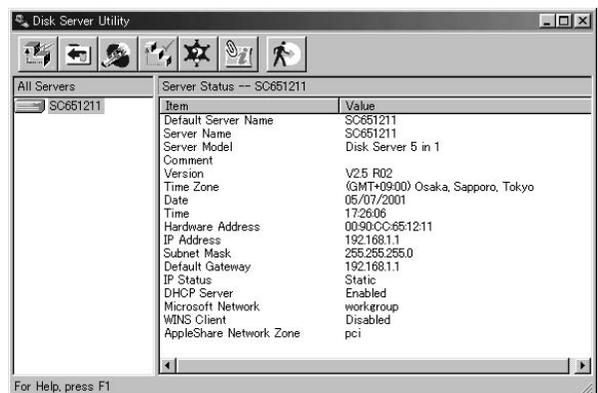
6. ファイルのコピーが完了すると次のような画面が表示されます。「Finish」ボタンをクリックしてください。



## 2. Disk Server Utilityを使用する

1. Disk Server Utilityを起動してください。このプログラムは通常、インストールの完了と同時に自動的に起動します。自動的に起動しない場合は、「スタート」メニューからDisk Server Utilityを起動してください。

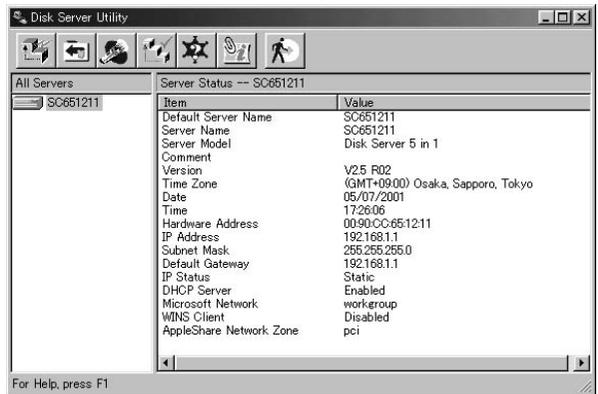
2. 次の画面が表示されます。画面左のリストには、ネットワーク上に接続されているすべてのサーバが表示されます。右側には、現在選択されているサーバの詳細情報が表示されます。(詳細情報が表示されない場合は「付録A トラブルシューティング」を参照してください。)



- 3.画面左のリストからセットアップを行うサーバを選択し、ツールバーの一番左側にある「Setup Wizard」(セットアップウィザード)アイコンをクリックしてください。



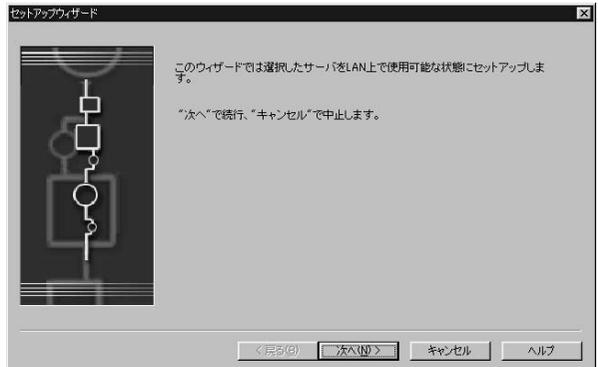
「Setup Wizard」アイコン



- 4.管理者(admin)のパスワードを入力する画面が表示されます。ここで、パスワード欄に“password”と入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。



- 5.セットアップウィザードが起動します。次のような画面が表示されるので「次へ」ボタンをクリックしてください。



- 6.以後、ウィザードの指示に従って、各画面で必要な情報を入力してください。

## サーバ情報およびMicrosoftネットワークの設定

### 「サーバ名」

サーバ名が表示されます。必要に応じて任意の名前に変更可能です。

### 「コメント」

本製品の設置場所など、必要に応じてコメントを入力してください。

### 「地域」

一覧からご使用の地域のタイムゾーンを選択してください。日本国内で使用する場合は「( GMT + 09 : 00 ) Osaka , Sapporo , Tokyo 」を選択してください。

### 「日付/時刻」

ご使用地域の現在の日付と時刻を設定してください。入力は月/日/年(西暦)の順で行ってください。

### 「ワークグループ名」

LAN上のMicrosoftネットワークで使用しているワークグループ名を入力してください。

### 「WINSを有効にする」

LAN上でWINSサーバを使用している場合は、ここをチェックしWINSサーバのIPアドレスを入力してください。



## LAN側IPアドレスおよびDHCPサーバ機能の設定

### 「DHCPサーバから自動取得する(DHCPクライアント)」

LAN上でDHCPまたはBootpサーバを使用している場合は、この設定を有効にすることができます。有効に設定すると、本製品はLAN側ポートのIPアドレスをDHCPまたはBootpサーバから取得するようになります。

ただし本製品はサーバとなっているため、固定IPアドレスを設定して使用することを推奨します。また、上記のDHCPクライアント設定を有効にすると、本製品を使用したインターネット接続共有機能が使用できなくなりますのでご注意ください。

LAN上でDHCPサーバが使用されていない場合は、必ず次の「固定IPアドレスを使用する」を選択してください。

### 「固定IPアドレスを使用する」

本製品のLAN側ポートに固定のIPアドレスを設定します。本製品のDHCPサーバ機能とインターネット接続共有機能を使用する場合はこのオプションが必要となります。

### 「IPアドレス」

本製品のLAN側ポートに割り当てるIPアドレスを入力してください。「推奨値を表示」ボタンをクリックすると、LAN上で現在未使用のIPアドレスを表示します。

### 「サブネットマスク」

本製品のLAN側ポートに割り当てるサブネットマスクを入力してください。LAN上のコンピュータで使用されている値と一致する必要があります。デフォルト設定は 255.255.255.0 となります。

### 「ゲートウェイ」

ネットワーク上でルータをご使用の場合は、そのIPアドレスを入力してください。その他の場合はデフォルト設定のままにしておいてください。



**「DHCPサーバ機能を有効にする」**

このオプションを選択すると、本製品のDHCPサーバ機能が有効になります。LAN上の各コンピュータにIPアドレスを自動で割り当てます。

**「割り当て開始アドレス」**

DHCPサーバ機能で割り当てるIPアドレス範囲の、開始アドレスを入力してください。

**「割り当て終了アドレス」**

DHCPサーバ機能で割り当てるIPアドレス範囲の、終了アドレスを入力してください。

**インターネットアクセス方法の選択****「インターネットへのアクセス」**

インターネットへのアクセスの方法を選択してください。本製品を使用してインターネットにアクセスする必要がある場合は「インターネットにアクセスしない」を選択してください。

**インターネットアクセスの設定**

設定画面の内容は、上記画面で選択したアクセス方法により異なります。

**WANポートを使用する場合****「IPアドレス - 自動取得」**

本製品のWAN側ポートのIPアドレスをプロバイダから自動取得する場合はここを選択してください。

**「IPアドレス - 固定設定」**

本製品のWAN側ポートのIPアドレスを固定で設定する場合は、ここを選択しプロバイダから指定されたIPアドレスを入力してください。

**「IPアドレス」**

プロバイダから指定されたIPアドレスを入力してください。

**「サブネットマスク」**

プロバイダから指定されたサブネットマスクを入力してください。

**「ゲートウェイ」**

プロバイダから指定されたゲートウェイアドレスを入力してください。

**「PPPoE(PPP over Ethernet)を使用する」**

プロバイダとの接続にPPPoEを使用する場合はここをチェックしてください。

**「アカウント名」**

PPPoE接続のアカウント名(ユーザ名)を入力してください。



**「パスワード」**

PPPoE接続のパスワードを入力してください。確認のため「パスワードの確認」にも同じパスワードを入力してください。

**シリアルポートを使用する場合****「シリアルポート通信速度」**

通信速度を選択します。

**「回線種別」**

Tone、Pulse、Permanent connectの中から選択してください。

**「モデムの種類」**

使用するアナログモデムまたはISDN TAの種類を選択してください。

**「初期化コマンド」**

ご使用のモデムの初期化コマンドを入力して下さい。デフォルトはAT&FM0となっています。

**「INFファイル」**

ドライバ設定情報ファイルを指定します。

**「アカウント名」**

プロバイダへ接続するアカウント名(ユーザ名)を入力してください。

**「パスワード」**

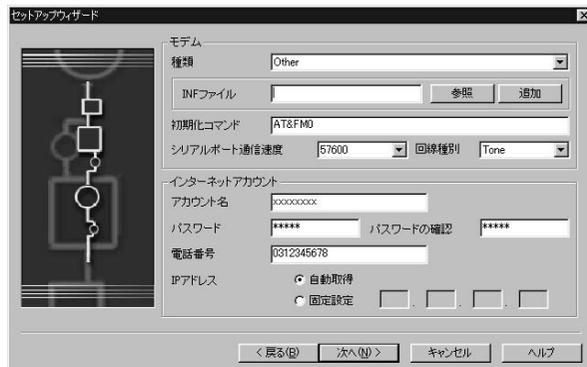
パスワードを入力してください。確認のため「パスワードの確認」にも同じパスワードを入力してください。

**「電話番号」**

プロバイダのアクセスポイントの電話番号を入力してください。

**「IPアドレス」**

プロバイダから固定のIPアドレスが割り当てられている場合は、「固定設定」にチェックをして指定されたIPアドレスを入力してください。また、接続時にDHCPサーバから自動的にIPアドレスを取得する場合は「自動取得」を選択して下さい。



7. ウィザードが完了した時点で本製品は使用可能な状態になります。ただし、以下の制限がありますのでご注意ください。

すべてのWindowsユーザに対し、「guest」のアクセス権が与えられます。このアクセス権では、プリンタの使用とpublicフォルダへのアクセスが可能となります。

インターネット関連のアドバンスド設定(スペシャルアプリケーション、フィルタリング、バーチャルサーバ)はウィザードからは設定できません。これらの詳細設定については、「第6章 インターネットアクセス機能」をご参照ください。

8. クライアントコンピュータの設定を行います。Windows PCクライアントのセットアップ方法については「第7章 Windowsクライアントのセットアップ」をご参照ください。

### 3. 本製品の詳細設定について

WEBブラウザの管理インターフェースを使用して、本製品のさらに詳細な設定を行うことが可能です。WEBブラウザから管理インターフェースを起動するには、ユーティリティのメイン画面上にある「Administration」ボタンをクリックしてください。また、管理インターフェースの詳細については「第5章 管理」をご参照ください。

# Macintoshからのセットアップ

**付** 属のユーティリティCD-ROMに収録されているセットアップユーティリティはWindows PC専用です。Macintoshをご使用の場合は、本製品にコンピュータを接続した上で、WEBブラウザを使用して本製品を設定する必要があります。またWEBブラウザは、JavaScript V1.1以上をサポートしているものを使用してください。

本製品のWEBブラウザベース管理インターフェースで動作確認のとれているブラウザは以下の通りです。

Netscape Navigator 4.08以降  
Internet Explorer 4.0、5.0、5.5

## 1. 本製品へのログイン

- 1.ご使用のMacintoshに、利用可能なIPアドレスおよびサブネットマスクが設定されていることを確認します。  
「Apple」メニューから「コントロールパネル」「TCP/IP」と選択してください。このオプションが選択できない場合は、TCP/IPがインストールされていないことが考えられます。お手持ちのAppleシステムディスクをご使用の上TCP/IPプロトコルのインストールを行ってください。  
本製品のLAN側ポートにはデフォルトでIPアドレス192.168.1.1が設定されています。サブネットマスクもデフォルトで255.255.255.0が設定されています。ご使用のコンピュータのIPアドレスを192.168.1.2～192.168.1.254の範囲で設定してください。また、サブネットマスクを255.255.255.0に設定してください。

2.WEBブラウザを使用して本製品にログインします。WEBブラウザを起動してください。

3.WEBブラウザのアドレス欄に以下のように入力します。

http://192.168.1.1

本製品のLAN側ポートのIPアドレスを変更している場合は、そのIPアドレスを入力してください。

- 4.ユーザ名とパスワードを入力するダイアログボックスが表示されます。ユーザ名には"admin"と入力し、パスワードは"password"と入力してください。パスワードを変更している場合はそのパスワードを入力してください。
- 5.最初に表示される画面で、「管理」ボタンをクリックしてください。



6.次のようなメインメニューが表示されます。



## 2. 本製品のネットワーク設定

- 1メインメニューより「NETWORK」アイコンをクリックし、「TCP/IP」タブを選択してください。必要に応じてオンラインヘルプを参照して設定を行ってください。設定を変更した場合は必ず「保存」ボタンをクリックしてください。
- 2.必要に応じて「Appletalk」タブ内の設定を変更してください。
- 3.これでMacintoshから本製品にアクセスする準備が整いました。本製品にログインする時はユーザ名“ guest ”または“ admin ”でログインしてください。
  - ・ guestとしてログインした場合、ユーザはpublic共有にアクセスすることができます。その他の共有にアクセスするには、everyoneグループのアクセス権を変更する必要があります。
  - ・ adminユーザはすべてのフォルダに対するアクセス権限を持っています。初期設定ではadminユーザ用のパスワードは“password”に設定されています。セキュリティ上早急にパスワードを設定することをおすすめします。
  - ・ 本製品のInternet Access機能は使用できません。WEBベースの管理インターフェースをご使用の上、本製品上でインターネット接続を共有する設定を行ってください。
  - ・ 管理インターフェースについてのより詳しい情報については「第5章 管理」をご参照ください。

### 3. プリントサーバ機能の設定

LaserWriter対応プリンタをご使用の場合は特に設定を行う必要はありません。第8章「Macintoshクライアントセットアップ」にお進みください。

非LaserWriterプリンタをご使用の場合は、ご使用のプリンタ用のプリンタドライバを各Macintoshクライアントにインストールする必要があります。

また、「SYSTEM」「Printer Port」で表示される内容（右図参照）も正しく設定されている必要があります。「プリンタのタイプ」オプションを「その他」に設定し、さらに「プリンタオブジェクトタイプ」も正しい設定を選んでください。「プリンタオブジェクトタイプ」については、ご使用のプリンタのマニュアルを参照してください。

これで、第8章「Macintoshクライアントのセットアップ」内の設定を行う準備が整いました。





# 管理

## 1. 概要

本製品の管理者は、「ユーザ」、「グループ」および「共有」を作成しこれらを管理することにより本製品の利用を制御することができます。

### ユーザ

各ユーザはそれぞれ個別のユーザ名とパスワードで識別されます。管理者はユーザの作成が行えるほか、各ユーザで利用可能なディスク容量の上限を設定することもできます。

### グループ

ユーザはいずれかのユーザグループに割り当てられます。一人のユーザが複数のグループに所属することも可能です。

### 共有

共有とは、ユーザがアクセスすることができる本製品上のフォルダ(ディレクトリ)を指します。共有の作成は管理者のみが行えるようになっていますが、共有内部であればユーザでもフォルダ(ディレクトリ)・ファイルを作成できます。

### アクセス権

共有へのアクセス権は「Read Only (参照のみ)」、「Read-Write(読み書き可能)」のいずれかが設定できます。管理上の手間を軽減するため、共有へのアクセスは各々のユーザごとでなく、ユーザグループ単位で設定するようになっています。

AppleShareでは「Read Only」のアクセス権をサポートしていないため、アクセス権は常に「Read-Write」となります。

## ⚠ 注意

1つの共有は1つのグループからしかアクセスできませんが、1つのグループから複数の共有へアクセスすることは可能です。

adminユーザおよび、administratorグループに追加されているすべてのユーザは、常にすべての共有およびフォルダに対して「Read-Write」のアクセス権限を持ちます。

guestユーザは、public共有に対する「Read-Write」権限を持ちます。guestユーザが他の共有にアクセスするためには、管理者側でeveryoneグループのアクセス権限を変更する必要があります。

本製品上でユーザ名を持たないユーザは、自動的にguestとしてログインされます。

## 2. WEBインターフェース

本製品では、ユーザ、グループおよび共有を作成・管理するためのWEBインターフェースをご使用いただけます。

本製品はHTTPサーバを内蔵しています。HTTPサーバは、ユーザがWEBブラウザ経由で本製品にアクセスしたり、本製品を設定したりする際に使用されます。使用するWEBブラウザはJavaScript V1.1以上に対応している必要があります。当製品のWEBインターフェースで動作可能なブラウザは以下の通りです。

- ・ Netscape Navigator 4.08以降
- ・ Internet Explorer 4.0 , 5.0および5.5

### 3. 本製品に接続する

#### Windowsユーザ

1. Disk Server Utilityを起動し、接続する本製品を画面上で選択します。

2. Administration ボタン  をクリックします。

3. 以下のようにパスワードを入力する画面が表示されます。

ユーザ名として "admin" を入力します。工場出荷時の設定では、パスワードは "password" に設定されています。以前にパスワードを設定されている場合はそのパスワードをこの時点で入力してください。



「OK」ボタンをクリックすると、右のような画面が表示されます。続いて「管理」ボタンをクリックし、メインメニューを表示してください。メニューの詳細については、次頁以降の「4.メインメニュー」を参照してください。



#### Macintoshおよびその他ユーザ

1. ご使用のWEBブラウザを起動します。

ブラウザのアドレスボックスに以下のように入力します。

http : //192.168.1.1

上記の例では、本製品のデフォルトIPアドレスを使用しています。これまでに本製品のIPアドレスを変更している場合は、新しいIPアドレスを入力してください。

2. パスワード入力画面が表示されるので、ユーザ名として "admin" を入力します。パスワードは " password " を入力します。以前にパスワードを設定されている場合はそのパスワードをこの時点で入力してください。
3. 次に、本製品を選択する画面が表示されます。本製品を複数ご使用の場合は、「接続」ボタンを使用してご希望の本製品に切り替えることが可能です。本製品を1台のみご使用の場合は、そのまま「管理」ボタンをクリックしてメインメニューを表示してください。

## 4. メインメニュー

以下のメインメニューが表示されます。

メインメニュー上の各項目は、以下の2つのグループに分けられています。

Configuration (設定)

Storage Management (ストレージ/容量管理)

### 4-1. Configuration

#### NETWORK

##### 「TCP/IP」

IPアドレス、DHCPサーバ機能、およびDNS(ドメインネームサーバ)の設定を行います

##### 「Microsoft」

マイクロソフトネットワークの「ワークグループ名」「コードページ」および「WINS設定」を設定します。

##### 「AppleTalk」

AppleTalkゾーンを設定します。初期設定は、すべてのゾーンからのアクセスを許可する"\*"となっています。

#### INTERNET

LANユーザ間でインターネット接続を共有する場合はこのオプションを選択します。

##### 「Connection」

使用するインターネットの接続方法を「Serial Port」「WAN Port」「WAN Port-PPPoE」のいずれかに設定するほか、LANユーザで利用可能なインターネット関連のサービスを、選択的に有効ないし無効に設定します。この画面上で「詳細設定」ボタンをクリックすると、選択されたインターネット接続方法のセットアップを行います。

##### 「Filtering」

フィルタの設定および、アクセス許可サイト・アクセス拒否サイト一覧の編集を行います。フィルタリングのログ情報もこの画面から参照します。

##### 「Special Apps」

通常であれば内蔵のファイアウォールに遮断されて使用できないインターネットアプリケーションを利用できるようにします。ゲームサーバ、インターネット電話等のアプリケーションを利用する場合に設定します。

##### 「Virtual Servers」

ご使用LAN上のWEBサーバ、メールサーバ、FTPサーバおよびその他のサーバをインターネット上のユーザからアクセスできるようにします。

##### 「Status」

インターネット接続の状態を確認します。



## SYSTEM

### 「General」

本製品のサーバ名、日付、時刻および地域を設定します。

### 「E-Mail」

何か問題が発生した場合は、本製品からEメールが送信されるように設定します。

### 「Printer Port」

プリンタの設定を行います。便利な機能ですが、Windowsユーザは必ずしもこの機能を使用する必要はありません。逆に、非LaserWriterプリンタを本製品に接続して利用するMacintoshユーザは当機能を必ずご使用ください。

### 「Shutdown」

本製品をシャットダウンします。また、シャットダウンを行うスケジュールの作成も行います。

### 「S.M.A.R.T」

S.M.A.R.T ( Self-monitoring, Analysis, and Reporting Technology ) とは、ハードディスクに実際に障害が発生する前にその障害を予告する機能です。S.M.A.R.Tスケジュールの設定と実行結果の確認ができます。

## UTILITIES

本製品のメンテナンスを行うときのみ使用するユーティリティです。

### 「Disk」

スキャンディスク機能を使用してディスクのエラーチェックを行います。ディスクを複数装着している場合は、新規ディスクのフォーマットを行うことも可能です。

### 「Upgrade」

本製品のファームウェアを更新します。

## STATUS

### 「System」

システムの状態確認を行います。データは参照のみ可能です。またこの画面ではシステムログが参照できます。

### 「Printer」

プリンタの状態確認および、現在印刷中のプリントジョブまたはすべてのプリントジョブの削除を行います。

### 「Disk」

ディスクの使用量を確認します。このデータは参照のみ可能です。

これらの設定方法の詳細については、設定メニューのオンラインヘルプを参照して下さい。

## 4-2. Storage Management

Storage Management以下のオプションでは、

(1)「共有」、「ユーザ」および「グループ」の管理

(2)「共有」へのアクセス管理

が行えます。詳細については、次項「4-3.共有、グループおよびユーザの管理」をご覧ください。

### BROWSE

本製品上の共有およびフォルダを参照します。当オプションでは以下の操作が行えます。

ハードディスク上の共有、およびフォルダ間の関係を確認

本製品上のディレクトリ構造を確認

### GROUP

現在選択されているグループを参照

グループの共有へのアクセス権限を変更

グループ上でのユーザの追加・削除

新規グループの追加および既存グループの削除

### SHARES

共有の作成、追加および編集を実行

共有とは、ユーザからアクセス可能なフォルダ(ディレクトリ)を指します。

アクセス権限は個人ユーザにではなく、グループ単位で設定されます。

### USERS

既存ユーザの一覧を表示

ユーザデータを修正

ユーザの作成・削除を実行

## ⚠ 注意

*guest* および *admin* ユーザは削除できません。

*admin* ユーザを *administrator* グループから削除あるいは移動することはできません。

*admin* ユーザおよび *administrator* グループ内の全ユーザは、すべての共有およびフォルダに対して *Read-Write* 権限を持ちます。

*guest* ユーザのプロパティは変更できません。

## 4-3. 共有、グループおよびユーザの管理

当セクションの内容は本製品の管理者用となっています。本製品を管理し、また本製品へのアクセスを制御する際に役立つ情報をご案内します。

## 用語解説

「共有」とは、ご使用LAN上のクライアント（コンピュータ）からアクセスできる本製品上のフォルダを指します。「共有」は管理者のみ作成可能となっています。

「アクセス権」とは「共有」を利用する権限を指します。本製品では、Read-Only（参照のみ可能）とRead-Write（読み書き可能）の2種類のアクセス権があります。アクセス権は、個人のユーザ単位ではなく、複数のユーザで構成された「グループ」単位に設定します。

いずれの共有も、アクセスできるのは1つの「グループ」のみです。ただし、1つの「グループ」から複数の「共有」にアクセスすることは可能です。

一人の「ユーザ」が複数の「グループ」に所属することも可能です。

## 特殊な共有、ユーザおよびグループについて

本製品には、お買いあげいただいた時点で既に以下の「共有」、「グループ」および「ユーザ」が設定されています。これらの設定は削除できないほか、修正も限られた範囲でしか行えないようになっています。

### 共有およびフォルダ

#### HDD1

ルートフォルダです。このフォルダをバックアップすると、ドライブ上のすべてのデータがバックアップされます。administratorグループは、この共有に対し常にRead-Write権限を持っています。

#### public共有

everyoneグループには、このフォルダへのRead-Write権限がデフォルトで設定されています。この権限は変更できないため、public共有はすべてのユーザからアクセス可能となっています。

この共有を削除することはできません。

#### spoolフォルダ

印刷待ちの印刷ジョブを保管するシステムフォルダです。当フォルダは、「Browse」メニューオプションからアクセスすることができます。

当フォルダ内でファイルを削除すると、対応する印刷ジョブが削除されます。

### グループ

#### everyone

このグループを削除することはできません。

すべてのユーザがこのグループのメンバーとなっており、いずれのユーザも同グループから削除することはできません。

#### administrator

すべての共有に対し、常にRead-Write権限を持っています。

このグループを削除することはできません。

adminユーザはこのグループから削除できません。ただし他のユーザの追加・削除は可能です。

### ユーザ

#### admin

このユーザは削除できません。

adminユーザはadministratorグループのメンバーとなっているため、すべての共有に対するRead-Write権限を持ちます。初期状態では、adminユーザには“password”が設定されています。パスワードの設定は可能ですので、なるべく早急にパスワードを設定することをおすすめします。

guest

このユーザを削除することはできません。

guestユーザはeveryoneグループのメンバーとなっているため、everyoneグループのアクセス権を持ちます。

guestユーザのプロパティは変更できません。

## 共有のネスト化について

本製品では、共有内のフォルダを共有とすることが可能です。これを「ネスティング」または「共有をネスト化する」と言います。共有は、どの階層まででも繰り返しネスティングすることができます。ただし、ネスティングを行う場合は以下の点にご注意ください。

Windowsの「ネットワークコンピュータ」上では、どの共有も同一の階層上にあるものとして表示されます。このためネスティングされていてもそうと区別することはできません。

ユーザから共有にアクセスした場合でも、ユーザから確認できるのはフォルダのみとなっており共有を確認することはできません。このためユーザ側では、サブフォルダがあったとしてもこれがネスティングされた共有なのかどうか区別することはできません。

いずれか外側の共有に対してアクセス可能なユーザは、同時にその内部の共有に対するアクセス権も持つこととなります。このため、機密性の高いデータは最も内側の共有でなく、必ず最も外側の共有に保存するようにしてください。

### 複数の共有へのアクセス権

どの共有に対しても、アクセス可能なグループは通常1つまでとなっています。しかしネスティングを行うと、1つの共有に対し複数のグループからアクセスすることが可能となります。

2つのグループに同じユーザが所属しており、これらのグループに対しそれぞれ異なるアクセス権を持っている場合は、与えられるアクセス権限は最小制限(二つのアクセス権のうち制限のより少ないもの)のものとなります。

## 4-4. 共通管理タスク

### 本製品の設定を保護

- 1.Adminユーザにパスワードを設定
- 2.メインメニューから「USERS」を選択すると、Userタブの画面が表示されます。
- 3.Adminユーザを選択して「更新」ボタンをクリックします。

### ユーザの新規作成

メインメニューから「USERS」を選択し、Userタブでの画面で「クリア」ボタンをクリックします。その後、新しいユーザ情報を入力し、「更新」ボタンをクリックします。

### ユーザ情報の編集

メインメニューから「USERS」を選択し、プロパティ内の情報を入力後、「更新」ボタンをクリックします。

### グループの新規作成

メインメニューから「GROUPS」を選択し、Groupタブの画面でグループ名を入力後「追加」ボタンをクリックします。

### グループのメンバー変更

メインメニューから「GROUPS」を選択し、Membersタブの画面で追加、削除が可能です。

### 共有の新規作成

メインメニューから「SHARES」を選択し、「共有の作成」ボタンをクリックし、共有名等を入力後、「保存」ボタンをクリックします。

### 共有へのアクセスを設定

メインメニューから「GROUPS」を選択し、希望のグループを選んでAccessタブの画面で、このグループからアクセスする共有およびアクセス権の種類を選択します。

### ファイル管理

アクセス可能な、どの共有の中でも、Windowsエクスプローラを使用してファイルの管理を行うことが可能です。Administratorグループ内のユーザは、どの共有にもアクセス可能なほか、本製品のルートディレクトリであるHDD1共有にもアクセスすることができます。

## ▲ 注意

AppleTalkクライアントにより以下のファイルが作成されることがありますが、これらのファイルは絶対に削除しないでください。

.Apple Desktop

.Apple Double

Network Trash Folder

### 本製品上のデータをバックアップ

お手持ちのバックアップツールをご使用の上、ご希望のフォルダをバックアップしてください。

HDD1フォルダをバックアップすると全ファイルのバックアップを行うことができます(Administratorグループ内ユーザのみ可)

### サーバのシャットダウン

以下のいずれかの方法で本製品をシャットダウンできます。

- 1.製品背面にある電源スイッチを一回押す
- 2.メインメニューから「SYSTEM」を選び、さらに「Shutdown」タブをクリックした上で、  
(1)遠隔シャットダウン(「今すぐシャットダウン」を選択)  
(2)時間指定でシャットダウン(「後で実行」を選択)

を指定することができます。

## 4-5. プリンタおよび印刷の管理

### プリンタポートの設定

#### Windowsクライアント

メインメニューから「SYSTEM」を選び、さらに「Printer Port」タブをクリックします。このとき表示される画面で、プリンタ名を正しく入力する必要があります。この作業そのものが印刷に影響を与えることはありませんが、ユーザがネットワークを参照した際によりプリンタが識別しやすくなります。

#### Macintoshクライアント

「Macintosh用にプリンタを設定する」のセクションをご覧ください。

### 印刷ジョブの管理

メインメニュー上で「STATUS」を選んだあと「Printer」タブを選択します。この画面では、現在キュー上にある印刷ジョブの数が表示されます。

現在実行中のジョブが正しく印刷されない場合は、「印刷中のジョブを削除」ボタンをクリックしてそのジョブを削除することができます。

印刷キュー内のすべてのジョブを削除する場合は「すべてのジョブを削除」ボタンをクリックします。

## Macintosh用にプリンタを設定する

LaserWriter対応プリンタをご使用の場合は、設定は特に必要ありません。このまま第8章「Macintoshクライアントのセットアップ」内の手順を実行してください。

非LaserWriterプリンタをご使用の場合は、本製品と接続されているプリンタのプリンタドライバを各Macintoshにインストールする必要があります。

またメインメニューの「SYSTEM」から「Printer Port」タブを選択し、画面上の設定内容がすべて正しいかどうかご確認ください。

「プリンタのタイプ」は「その他...」に設定します。また、「プリンタオブジェクトタイプ」が正しく設定されていることをご確認ください。設定すべきプリンタオブジェクトタイプについては、プリンタ付属のマニュアルを参照してください。

これで第8章「Macintoshクライアントのセットアップ」を実行する準備が整いました。





# インターネット アクセス機能

## 1. 概要

インターネットアクセス機能を使用すると、1つのインターネットアカウントをすべてのLANユーザ間で共有することが可能です。なお、インターネット接続時は本製品のWANポートまたはシリアルポートを使用します。本機能はNAT(ネットワークアドレス変換)を使用しているため、プロバイダから提供されているグローバルIPアドレスを、ご使用のLAN上のすべてのユーザ間で共有できるようになっています。

### 必要環境

インストールおよび設定済みの本製品本体

各コンピュータにTCP/IPプロトコルがインストールされていること

シリアルポート経由でアクセスする場合はアナログモデムまたはISDN TA、WAN(イーサネット)ポート経由でアクセスする場合はADSLモデムまたはケーブルモデムが必要

ご使用プロバイダからインターネットアカウントが提供されていること

### 操作手順

以下の手順で本製品と各クライアントコンピュータの設定をされた後、本製品はその時点で自動的に動作可能となります。操作内容をユーザに意識されることもありませんので、各クライアントの業務に差し支えることもありません。

## 2. ベーシックセットアップ

1. 「第5章 3. 本製品に接続する」の手順に従って本製品に接続します。
2. メインメニューから「INTERNET」を選びます。「Connection」タブの内容が表示されます。
3. 「接続方法」プルダウンメニューで適切な接続方法を選択し、「詳細設定」ボタンをクリックします。
4. 「詳細設定」画面上で、適切なフィールドに情報を入力します。必要に応じてオンラインヘルプを参照してください。これらの情報はご使用のプロバイダから入手可能となっています。



## 3. フィルタリング

### サイトフィルタリング

不適切な内容を含むWEBサイトへのアクセスは、以下の方法で遮断(禁止)することが可能です。

#### ユーザ定義サイトリスト

アクセス[許可]サイト、[拒否]サイトのリストをそれぞれユーザ側で作成します。

#### ユーザ定義サイトリストを使用するには

1. メインメニューで「INTERNET」を選び、「Filtering」タブをクリックします。
2. 「サイトフィルタ」欄内の「ユーザ定義サイトリスト」を選択し、「リストの編集」ボタンをクリックします。
3. アクセスを許可するサイトを"Allowed Sites"タブ上で、また禁止するリストを"Banned Sites"タブ上でそれぞれ入力してください。入力時は、各サイトのURLアドレスかIPアドレスを直接指定してください。また、複数URLの記載されているファイルをインポートして各リストに追加することも可能です。

#### プロキシサーバの設定

サイトフィルタリングを可能にするためには、上記の設定の他に、プロキシサーバの設定が必要になります。

プロキシサーバは以下のように設定する必要があります。

- ・ 接続タイプ：HTTP
- ・ プロキシアドレス：本製品のIPアドレス（例：192.168.1.1）
- ・ ポート番号：3128

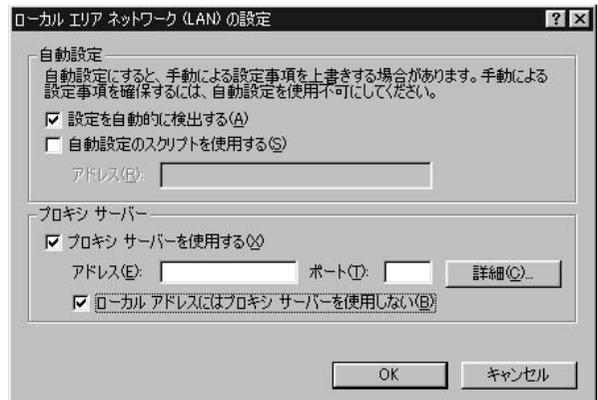
#### ⚠ 注意

他のプロトコル用のプロキシ設定フィールドは、すべて空欄のままにしてください。

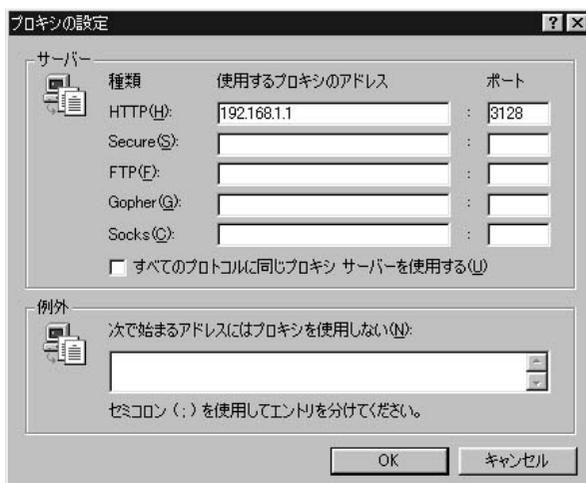
「すべてのプロトコルに同じプロキシサーバを使用する」ボックスには、絶対にチェックマークを入れないでください。

#### 設定手順（Internet Explorerからのプロキシ設定）

1. スタートメニューから「設定」「コントロールパネル」を選び、「インターネットオプション」のアイコンをダブルクリックします。
2. 「接続」タブを選び、「LAN設定」ボタンをクリックします。
3. 「ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定」ウィンドウ内で、「プロキシサーバを使用する」および「ローカルアドレスにはプロキシサーバを使用しない」の各ボックスにチェックマークを入れます。



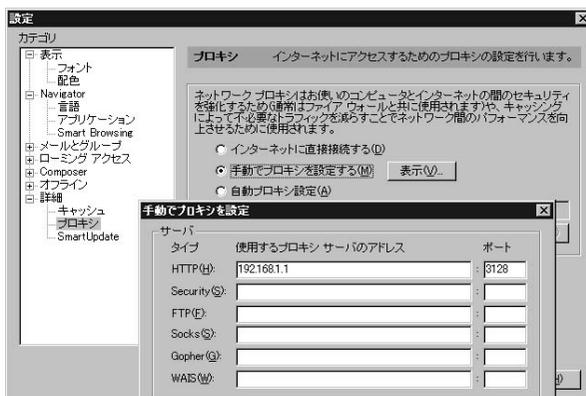
4. 「詳細」 ボタンをクリックし、「HTTP」フィールドに、冒頭にあるプロキシ情報を入力してください。「すべてのプロトコルに同じプロキシサーバを使用する」ボックスにチェックマークが入っていないことを必ずお確かめください。



5. 「OK」 ボタンをクリックします。これで設定が保存され、操作が完了します。

### 設定手順（Netscape Navigatorからのプロキシ設定）

1. Netscape Navigatorを起動し、メニューバーの「編集」から「設定」を選びます。
2. 画面左のメニューにある「詳細」をダブルクリックし、さらに「プロキシ」をクリックします。次に、画面右の「手動でプロキシを設定する」ボックスにチェックマークを入れ、「表示」ボタンをクリックしてください。



3. プロキシ情報を「HTTP」フィールドに入力します。他のフィールドはすべて空欄のままにしておいてください。
4. 「OK」 ボタンをクリックします。これで設定が保存され、操作が完了します。

## サービス別フィルタリング

フィルタリング画面上では、以下の各WEBページサービス(構成内容)を選択的に遮断することが可能です。

### Javaアプレット

ブラウザ上で実行される小規模のプログラムで、様々な追加機能を提供します。Javaアプレットは多くの株式市場サイトで利用されています。

### Javaスクリプト

HTML( WEB )ページに埋め込まれている簡単なプログラムコードです。ユーザの入力情報を確認するスクリプトやポップアップメッセージを表示するスクリプトのほか、機能別にさまざまなスクリプトが存在します。サイトによっては、スムーズに内容を閲覧するためJavaスクリプトを必須としているところもあります。これらのスクリプトは無害なものほとんどですが、中にはブラウザウィンドウを追加で起動し広告を表示するものもあります。

### ActiveXコントロール

マイクロソフト社で開発された、いわばJavaアプレットの代替策ともいえるプログラムです。Javaアプレットより強力な機能を備えていますが、セキュリティ面では高いリスクを伴います。ただしマイクロソフト社の"Windowsアップデート"システムはActiveXコントロールを使用しているため、この機能を無効にすると各PC上でWindowsアップデートが行えなくなってしまいます。

### Cookie

ブラウザがご使用ハードディスク上に保存する小さなテキストファイル(データ)を指します。いったん保存されたcookieは、後で本製品に送信されるかたちになります。Cookieはほとんどのショッピング関連サイトで必須となっているほか、広告会社によってはcookieを使用して各ユーザのネットサーフィン傾向を調べているところもあります。

## 4. スペシャルアプリケーション

当機能は、双方向通信や複数同時接続を行うインターネットアプリケーションや、TCP/UDP複合接続などをご使用の場合のみ必要となります。これらのアプリケーションの例としてはビデオ会議、音楽データ再生、ゲームサーバおよびその他特殊目的のサーバなどが挙げられます。よく利用される「スペシャルアプリケーション」についてはそのいくつかを既に本製品上で定義しています。定義済みのスペシャルアプリケーションは、「Special Apps」タブでその一覧が確認できます。ご使用のインターネットアプリケーションがうまく動作しないときは、このスペシャルアプリケーション機能でいくらか改善する場合があります。

既存のスペシャルアプリケーションを有効にするには

1. アプリケーションのリストからご希望のものを選びます。
2. 「有効にする」ボックスにチェックマークを入れます。
3. 「更新」ボタンをクリックします。

既存のスペシャルアプリケーションを編集するには

1. リストから編集するアプリケーションを選びます。
2. 「プロパティ」欄内の各フィールド上で必要な変更を加えます。各フィールドの詳細についてはオンラインヘルプをご覧ください。
3. 「更新」ボタンをクリックします。

スペシャルアプリケーションを新規に追加するには

1. 「クリア」ボタンをクリックします。
2. 「プロパティ」欄内の各フィールドに必要な事項を記入します。入力する情報はご使用のプロバイダから入手可能です。
3. 「追加」ボタンをクリックします。

なおスペシャルアプリケーションの中には、「受信データ」・「送信データ」でプロトコルとポート番号を両方同時には使用しないものもありますのでご注意ください。この場合は、使用しない部分ではポート番号欄を空欄のままにし、プロトコルを「Auto」に設定してください。「受信データ」・「送信データ」のどちらかでポート番号を1つ必要とする場合は、その番号を「開始」フィールドに入力してください。このとき「終了」フィールドは空欄のままでもかまいません。

### スペシャルアプリケーション用にコンピュータを設定する

各コンピュータ上でインターネット接続用の設定が済んでいる場合は、スペシャルアプリケーション用に特に設定を変更する必要はありません。使用されるアプリケーションに付属している取扱説明をご覧くださいの上、アプリケーションをそのままインストール・設定してご使用ください。

## 5. バーチャルサーバ

バーチャルサーバ機能を使用すると、インターネット上のユーザからご使用LAN内のコンピュータ（バーチャルサーバ）が利用できるようになります。通常、インターネット上のユーザは以下の理由によりご使用LAN内のサーバを利用できないようになっています。

- ご使用サーバに有効なグローバルIPアドレスが設定されていない
- ご使用LAN内にある機器に接続しようとしても本製品内蔵のファイアウォールにより遮断される

バーチャルサーバでは、これらの問題を取り除き、外部のインターネットユーザからのアクセスを可能にしています。

### ▲ 注意

外部（インターネット）ユーザからは、どのバーチャルサーバも同じIPアドレスを持っているように見えます。このIPアドレスは、ご使用プロバイダから提供されているアドレスとなります。

ご使用プロバイダから固定IPアドレスを入手すると、インターネットユーザからより簡単にバーチャルサーバに接続できるようになります。

### バーチャルサーバ機能を使用するには

1. ご使用LAN上で、使用するサーバソフトウェアのインストールおよび設定を行います。
2. メインメニュー上で「INTERNET」をクリックし、次に「Virtual Servers」タブを選択します。「Virtual Servers」タブ上でご希望の「サーバの種類」ボックスにチェックマークを入れ、サーバソフトウェアを実行するコンピュータのIPアドレスを続けて入力します。
3. 対象となるインターネットユーザに対し、バーチャルサーバにアクセスするためのIPアドレスを通知します。このアドレスはご使用プロバイダより提供されるもので、本製品の「Virtual Servers」タブ上でも表示されます。



# Windowsクライアントのセットアップ

## 1. 概要

本製品のクライアントとして利用可能なWindowsは以下の通りです。

Windows 95/98/ME/NT3.51/NT4.0/2000

クライアント上では、以下の各項目を選択ないし設定する必要があります。

TCP/IPプロトコル

ネットワークログオン

本製品搭載ディスクへのマッピング

ネットワークプリンタのインストール(本製品に接続したプリンタを利用する場合)

インターネット接続の設定

本章で使用する画面例は、Windows 98用となっています。他のWindowsでも同様の画面が表示されますが、内容が若干異なる場合があります。

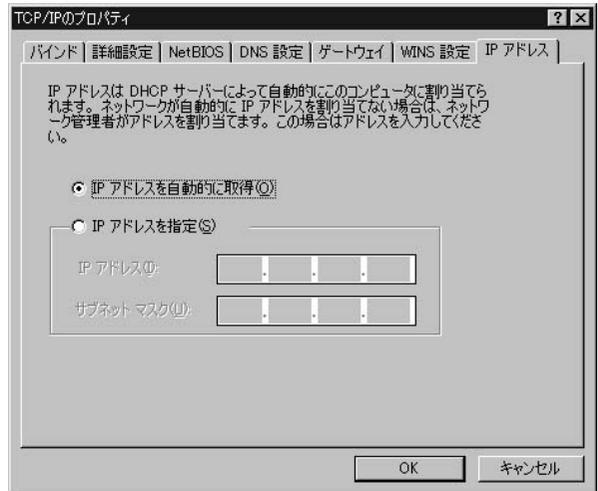
## 2. TCP/IPの設定

1. スタートメニューから「設定」「コントロールパネル」「ネットワーク」と選択します。以下の画面が表示されます。



2. 上の画面で選択されている「TCP/IP -> (ご使用ネットワークカード)」の部分が実際に表示されない場合は、TCP/IP プロトコルをインストールする必要があります。「追加」ボタンを押し、「プロトコル」「Microsoft」「TCP/IP」「OK」の順に選択してTCP/IPプロトコルをインストールしてください。

3. TCP/IPエントリが反転表示( 選択表示 )されました、「プロパティ」ボタンをクリックしてください。以下のように、「IPアドレス」タブの内容が表示されます。



### DHCPクライアントとして使用する場合

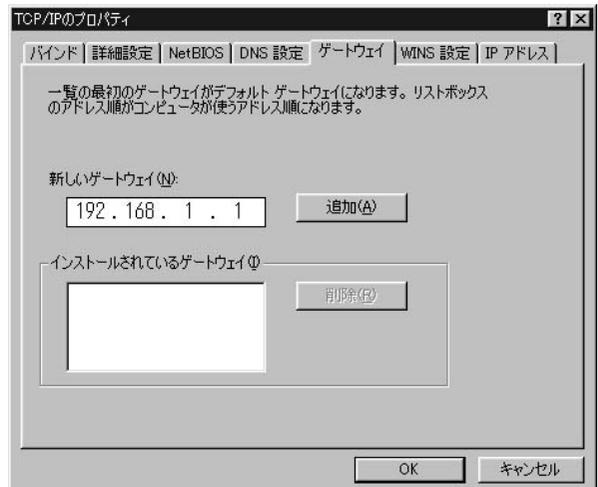
- 1.上の画面例のように「IPアドレスを自動的に取得」を選択します。本製品内蔵のDHCPサーバが有効となっている場合は、クライアントPCが起動した時点で自動的にこのDHCPサーバからIPアドレスおよびその関連情報が提供されます。
- 2.クライアントPCを再起動してください。(DHCPは、ご使用PCの起動時のみ機能するようになっていきます。)

### 「IPアドレスを指定」を選択した場合（IPアドレス固定）

本製品上でインターネット接続を共有しない場合は、特に設定を変更する必要はありません。

本製品上でインターネット接続を共有する場合は、以下の手順でデフォルトゲートウェイアドレスを本製品のIPアドレスに指定する必要があります。

1. 上記の手順でTCP/IPのプロパティ画面を表示します。
2. 「ゲートウェイ」タブを選択します。
3. 「新しいゲートウェイ」フィールドに本製品のIPアドレスを入力し、「追加」ボタンをクリックします。
4. 「OK」をクリックします。これで設定が保存されます。
5. コンピュータを再起動してください。



### 3. ネットワークログオン

本製品と接続するためには、ネットワークに正しくログオンする必要があります。

- 以下の手順で、現在ご使用のWindowsログオン設定を確認します。Windowsのスタートボタンから「設定」「コントロールパネル」「ネットワーク」とクリックしてください。以下のように、「優先的にログオンするネットワーク」が「Microsoft ネットワーククライアント」に設定されていることをご確認ください。

#### ▲ 注意

既にこのように設定されている場合は、特に設定を行う必要はありません。



- Windows起動時は、ネットワークにログオンするためのプロンプトが表示されます。この時点で必ずログオンしてください。ESCキーを押すか、「キャンセル」をクリックするとネットワークに接続できなくなってしまいます。ログオンするためには、有効なユーザ名およびパスワードが必要となります。

本製品の管理者が既に本製品上でユーザを定義している場合は、管理者から提供されるこのユーザ名およびパスワードを入力してください。本製品に登録されていないユーザ名およびパスワードでログオンすることも可能ですが、この場合はguestユーザとしてログオンすることになります。guestユーザにはデフォルトでpublic共有への「Read-Write」アクセス権が与えられています。管理者側で必要な設定を行えば、guestユーザから他の共有にアクセスすることも可能となります。

#### ユーザ用パスワードの変更

管理者から本製品用の有効なユーザ名が割り当てられた後は、以下の手順でそのパスワードを変更することが可能です。

- ブラウザを起動します。
- ブラウザのアドレスボックスに以下のように入力します。

http://192.168.1.1

なお、「192.168.1.1」は本製品のIPアドレスとなっています。他のIPアドレスが設定されている場合は、そのアドレスをここで入力してください。アドレスがわからない場合は本製品の管理者とご確認ください。

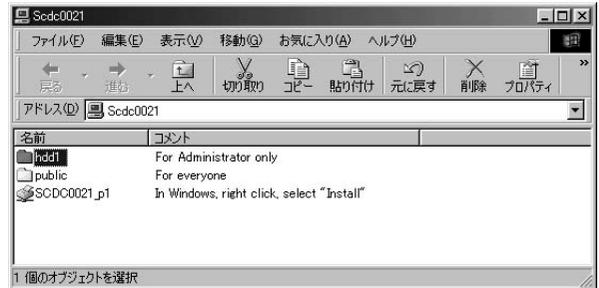
adminユーザのパスワードはこの方法では変更できません。管理インターフェースを使用する必要があります。

- ユーザ名およびパスワードを入力する画面が表示されます。ご使用のユーザ名とパスワードを入力してください。
- 次の画面で新しいパスワードを入力します。
- 設定を保存し、ブラウザを終了してください。

## 4. 本製品上のディスク領域を使用する

本製品上のストレージ(ディスク)を利用するには、アクセスを希望する本製品上のフォルダに対し、ドライブ番号をマッピングする(割り当てる)必要があります。マッピングがいったん完了すると、そのフォルダを今後Windows上のどのプログラムからもアクセスできるようになります。以下の手順でマッピングを行ってください。

1. デスクトップ上の「ネットワークコンピュータ」アイコンをダブルクリック(またはクリック)します。
2. メニューバーから「表示」「詳細」と選択します。これで「コメント」欄が表示されます。
3. 画面の中で本製品用のアイコンを探してください。以本製品が表示されない場合は、「ネットワーク全体」アイコンをダブルクリック(またはクリック)し、さらに本製品が所属しているワークグループをダブルクリック(またはクリック)してください。初期設定では、本製品は「Workgroup」というワークグループに所属しています。
4. 本製品のアイコンをダブルクリック(またはクリック)します。



5. アクセスを希望するフォルダ(ディレクトリ)上でマウスの右ボタンをクリックし、「ネットワークドライブの割り当て」を選択します。



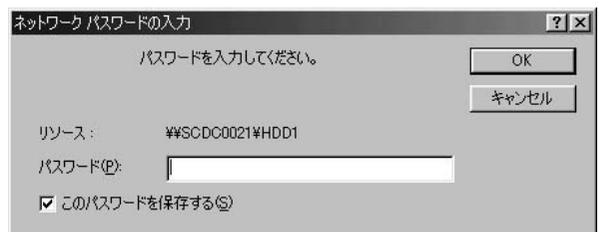
6. このフォルダ用としてドライブ番号を何か選択し、さらに「ログオン時に再接続」ボックスにチェックマークを入れます。なお、この設定を行わないとコンピュータをシャットダウンした時点で割り当て情報も失われてしまいますのでご注意ください。「OK」をクリックします。
7. これで、本製品上のフォルダはWindowsエクスプローラから自由に参照できるようになりました。また一般のWindowsアプリケーション上で「ファイルを開く」または「名前を付けて保存」を選択した際も、このフォルダ(ドライブ)を選択することができます。

### ⚠ 注意

本製品上のフォルダにアクセスすると、以下のようにパスワードを要求される場合があります。

同じユーザ名をWindowsログオン時および本製品上で使用しており、かつ違うパスワードをそれぞれ設定している場合は、上記の画面で本製品用のパスワードを入力してください。

ただしご使用のWindowsログオン用のユーザ名が本製品上で登録されていない場合は、guestとしてのアクセス権のみが与えられます。この場合、パスワードを入力する必要はありません。



Windowsエクスプローラまたは他のファイル管理ソフト上で本製品を参照すると、以下のAppleTalkクライアント用ファイルが表示される場合があります。

.Apple Desktop  
.Apple Double  
Network Trash Folder

これらのファイルは絶対に削除しないでください。

## 5. 本製品に接続したプリンタを使用する

1. 本製品のプリンタポートに接続されているプリンタの機種を確認します。
2. 「ネットワークコンピュータ」上で本製品を探します。
3. 本製品のアイコンをダブルクリック(またはクリック)します。プリンタ用のアイコンが表示されます。
4. このプリンタアイコン上でマウスの右ボタンをクリックし、「インストール」を選択します。「プリンタの追加」ウィザードが起動します。
5. 「製造元」および「プリンタ」フィールドで、本製品に接続されているプリンタ用の情報を正しく選択します。
6. 画面の指示に従ってインストールを行います。
7. ご使用Windowsの「プリンタ」リストに上記プリンタが追加されます。今後、このプリンタはどのWindows用アプリケーションからでも利用が可能です。

一般のWindows用コマンドを使用してプリンタの管理が行えます。

スタートボタンから「設定」「プリンタ」と選択し、プリンタの一覧を確認します。

プリントキュー上の文書を参照または削除する場合は、プリンタのアイコンをダブルクリック(またはクリック)します。

プリンタを通常使用するプリンタに設定する場合は、希望のプリンタが選択(反転表示)されている状態で「ファイル」「通常使うプリンタに設定」と選びます。

選択したプリンタの詳細設定を変更する場合は、「ファイル」「プロパティ」と選択します。

## 6. 本製品からインターネットに接続する

インターネットへの共有接続を利用するコンピュータは、それぞれ以下の設定を行う必要があります。

ゲートウェイIPアドレス (TCP/IP)

インターネットの接続方法

### ゲートウェイIPアドレス (TCP/IP)

DHCPを使用する場合は特に設定を変更する必要はありません。ただしDHCPを使用しない場合は、本章の「2.TCP/IPの設定」にあるTCP/IPの設定手順に従って、ゲートウェイIPアドレスを本製品のIPアドレスに設定してください。

### インターネットの接続方法

1. スタートメニューから「設定」「コントロールパネル」「インターネットオプション」と選びます。
2. 「接続」タブを選び、「接続」ボタンをクリックします。
3. 「インターネット接続を手動で設定するか、ローカルエリアネットワーク(LAN)を使用して接続します」を選んで「次へ」ボタンをクリックします。

4. 「ローカルエリアネットワーク(LAN)を使用してインターネットに接続します」を選んで「次へ」ボタンをクリックします。
5. 「ローカルエリアネットワークのインターネット構成」画面が表示されます。画面内のどのチェックボックスにもチェックマークが入っていないことをご確認の上、「次へ」ボタンをクリックしてください。
6. 画面の指示に従ってウィザードを進めます。設定が完了しましたら、最後に「完了」ボタンをクリックしてください。

### インターネットへの接続

本製品と各クライアントPCの設定がいったん完了すると、インターネットへの接続は自動的に行われます。WEBブラウザ、FTPクライアント、Eメールプログラムなどのアプリケーションをすべてそのままご使用いただけます。ただしインターネット接続が終了している状態でアナログモデムを使用して接続を行うと、モデムから接続するまでの間、若干時間がかかる場合があります。

# Macintoshクライアントのセットアップ

## 1. 概要

本製品をご使用いただくには、以下の環境および設定が必要となります。

Mac OS 7.5以降およびAppleShare

本製品の管理者側で、各Macユーザ用のユーザアカウントを作成する必要があります。ユーザアカウントの作成を行わないと、ユーザはguest権限でのみ本製品にログイン可能となります。

本章で選択または設定する項目は以下のとおりです。

TCP/IPプロトコル

本製品内蔵ディスク(ストレージ)へのアクセス

ネットワークプリンタの設定(本製品に接続されたプリンタを使用する場合)

インターネット接続の設定

## 2. TCP/IP

通常は、何も設定を変更する必要はありません。

ただし以前に固定IPアドレスを設定しており、これから本製品のDHCPサーバ機能を使用される場合は、ご使用MacintoshがDHCPクライアントとして利用できるようにTCP/IP設定を変更する必要があります。この場合は以下の手順で設定を行ってください。

### MacintoshをDHCPクライアントに設定する

1. アップルメニューから「コントロールパネル」「TCP/IP」と選択します。
2. さらに「イーサネット」「設定」「DHCP」と選択します。

## 3. 本製品内蔵ディスクにアクセスする

1. アップルメニューから「セレクト」を選びます。
2. 「AppleShare」アイコンをクリックします。
3. 必要な場合は、いずれか適切なゾーンを選択してください。(初期設定では、本製品はすべてのゾーンからアクセスできるようになっています。)
4. 「ファイルサーバ」リストから本製品を選択してOKボタンをクリックします。
5. ログインダイアログが表示されますので、ユーザ名およびパスワードを入力します。あらかじめ本製品上で登録されているユーザ名とパスワードを正しく入力してください。入力内容が間違っているとアクセスすることができません。本製品の管理者がお客様用のユーザ名をまだ作成していない場合は、「ゲスト」ボタンをクリックしてください。ゲストユーザはpublic共有にアクセスすることができます。
6. 本製品上で利用可能なフォルダである「共有」の一覧が表示されます。アクセスを希望される共有のチェックボックスにチェックマークを入れてください。なお、アクセス権限のない共有を選択するとエラーメッセージが表示されます。
7. OKをクリックすると操作が完了します。この時点で、選択された共有のアイコンがご使用デスクトップに表示されます。デスクトップ上の共有は、他のフォルダとまったく同じようにご使用いただけます。

## 4. 本製品に接続されているプリンタを使用する

1. 「セレクト」から、本製品に接続されているプリンタに見合ったプリンタタイプを選択します。
2. 右側のリストから本製品を選択し、さらに「作成」をクリックしてください。(本製品と接続されているプリンタがこの時点で表示されない場合はトラブルシューティングをご覧ください。)
3. 他のプリンタ同様、今後は本製品に接続されているプリンタもご使用いただけます。

### ⚠ 注意

「System」メニューの「Printer Port」タブ上にある「プリンタオブジェクトタイプ」および「プリンタの設定」の各設定は、それぞれ必ず正しく選択してください。操作の詳細については、第4章「3. プリントサーバ機能の設定」をご覧ください。

## 5. 本製品からインターネットに接続する

### インターネット接続の設定

DHCPを使い、本製品経由でご使用のMacintoshからインターネットに接続する場合は以下の設定を行ってください。

1. TCP/IPコントロールパネルを開きます。
2. 「接続元」メニューから「イーサネット」を選びます。
3. 「設定方法」メニューから「DHCPサーバを使用」を選びます。「DHCPクライアントID」フィールドは空欄のままかまいません。
4. 「TCP/IP」パネルを閉じてください。これで設定が保存されます。

### ⚠ 注意

DHCPの代わりに手動設定されたIPをご使用の場合は、「ルータアドレス」を本製品のIPアドレスに変更してください。他に必要な設定作業はありません。

## 6. パスワードの変更

本製品用のユーザアカウント(ユーザ名)が管理者から発行された後、このアカウント用のパスワードを変更する場合は以下の操作を行ってください。

1. ブラウザを起動します。
2. ブラウザのアドレスボックスに以下のように入力します。  
http://192.168.1.1

なお、上記の「192.168.1.1」は本製品のIPアドレスとなっています。他のアドレスが設定されている場合は、そのアドレスを代わりに入力してください。本製品のIPアドレスが分からない場合は、本製品の管理者にお問い合わせの上アドレスを確認してください。

adminユーザ用のパスワードはこの方法では変更できません。変更する場合は管理インターフェースをご使用ください。

3. ユーザ名とパスワードを入力する画面が表示されます。ご使用のユーザ名とパスワードを入力してください。
4. 次の画面で新しいパスワードを入力してください。
5. 設定を保存し、ブラウザを保存してください。

# トラブルシューティング

## 1. Windows編

### 現象1：ディスクユーティリティ上に本製品が表示されない

対策：以下の点をご確認ください。

本製品が正しくインストールされているか

LAN内の接続が適切に行われているか

本製品の電源が入っているか

本製品とご使用PCが同じネットワークセグメント上にあるかどうか（ルータを使用していない場合は同一ネットワークセグメント上でのご使用となります）

ご使用PC上でTCP/IPプロトコルが有効となっているかどうかご確認ください。

コントロールパネルから「ネットワーク」を選択した時点で、「TCP/IP（ご使用ネットワークアダプタ）」の表示がない場合は、TCP/IPプロトコルがインストールされていません。そのまま「追加」ボタンをクリックし、「プロトコル」「Microsoft」「TCP/IP」と選択してプロトコルの追加を行ってください。次に、今作成されたエントリ（TCP/IPネットワークカード）を選択し、「プロパティ」をクリックして「IPアドレス」タブ内の情報を入力してください。ご使用LANでDHCPサーバをご使用の場合は、「IPアドレスを自動的に取得」を選択できます。

・DHCPサーバを使用していない場合は、「IPアドレスを指定する」を選択した上でIPアドレスおよびサブネットマスクを指定してください。IPアドレスは通常192.168.1.1～192.168.1.254の範囲内にあるものが使用されるほか、サブネットマスクは255.255.255.0がよく使われます。（本製品のデフォルトIPアドレスは192.168.1.1となっており、サブネットマスクは255.255.255.0に設定されています。）なお、ネットワーク内の各機器にはそれぞれ個別のIPアドレスを割り当てる必要があります。ただし、どの機器にも同じサブネットマスクを設定してください。

### 現象2：ディスクユーティリティ上で本製品は表示されるが、「Administration」ボタンが使用できない

対策：本製品のIPアドレスと、ご使用PCとの間で互換性がない場合はこの現象が発生します。

「Setup Wizard」ボタンを使用して、互換性のあるIPアドレスおよびサブネットマスクを本製品に割り当ててください。最後に「Refresh」を選択して一覧情報を更新してください。

### 現象3：本製品の設定完了後、「ネットワークコンピュータ」上で本製品を見つけることができない

対策：「スタート」ボタンから「検索」「ほかのコンピュータ」と選択し、本製品の名前を入力してください。

これで本製品が見つからない場合は、「コントロールパネル」から「ネットワーク」アイコンを選んで以下の点をご確認ください。

TCP/IPプロトコルがインストールされているかどうか

インストールが済んでいない場合は、「追加」ボタンをクリックし、「プロトコル」「Microsoft」「TCP/IP」と選んでインストールを行ってください。

ネットワークのバインド設定を確認してください

TCP/IPプロトコルがご使用のネットワークアダプタ（NIC）にバインドされていることをお確かめください。ご使用ネットワークカードを選択し、「プロパティ」をクリックした状態で「バインド」タブを選択します。TCP/IPがバインド（チェック）されていない場合は、この時点でチェックマークを入れてください。次に「TCP/IP...」で始まるご使用ネットワークカード用のTCP/IPエントリを選択し、「プロパティ」をクリックした上で「バインド」タブをクリックします。「マイクロソフトネットワーククライアント」がバインド（チェック）されていない場合は、この時点でチェックマークを入れてください。

- ・ルータを使用していない場合は、ご使用コンピュータのIPアドレスが本製品のアドレスと互換性があるかどうかご確認ください。具体的には、ご使用PCのアドレスが192.168.1.2～192.168.1.254の範囲内で設定されているかどうか、またサブネットマスクも255.255.255.0に設定されているかどうかをお確かめください。
- ・ルータをご使用の場合は、PC上でゲートウェイIPアドレスが正しく設定されていることをお確かめください。ご使用LANの管理者とご相談の上、正しいゲートウェイIPアドレスを入力してください。

#### 現象4：「ネットワークコンピュータ」上で本製品をクリックするとパスワードを要求される

対策：以下の状況が発生していることが考えられます。

PC上で使用したログオン名は本製品で認識できたが、パスワードは認識されなかった  
本製品用のパスワードをそのまま入力するか、Windowsパスワードを本製品用のパスワードと同じに設定してください。

PC上で使用したログオン名が本製品で認識されず、guestユーザとしてログオンされた

本製品の管理者側で、新規にユーザ名を作成してください。（ご使用PCと同じユーザ名をご使用ください。）

アクセスしようとした共有に対するアクセス権限がない

共有へのアクセス権限を与えるよう、本製品の管理者に依頼してください。

#### 注意

Windowsでは、コンピュータ名をデフォルトのログオン名として使用しています。（この情報はコンピュータ名は「コントロールパネル」「ネットワーク」「識別情報」で確認できます。）しかし、ログオンプロンプトで新しいユーザ名とパスワードを入力するだけで新規にWindowsログオン名を作成することが可能となっています。

#### 現象5：WEBインターフェース使用時、データによっては画面に入りきらないものがある。またこのときスクロールバーも表示されない。

対策：この現象は、使用フォントのサイズが過度に大きく設定されている場合のみ発生します。以下のいずれかの方法でフォントのサイズを小さくしてください。

ブラウザ上で、「表示」メニューから「フォント」または「文字の大きさ」を選んでフォントサイズを変更してください。

Windows上で、「コントロールパネル」「ディスプレイ」「設定」「詳細」と選択してフォントのサイズを変更してください。「小」または「大」のいずれかに設定可能です。

#### 現象6：印刷ジョブが印刷されず、何もエラーメッセージが表示されない。

対策：印刷ジョブをスプール（一時保存）するだけの十分なディスク空き容量がないと、この現象が発生する場合があります。管理インターフェース上でメニューからSTATUS Diskと選択し、「使用状況」欄の内容をご確認ください。空き容量不足が確認された場合は、以下の手順で印刷ジョブをいくつか削除してください。

- ・管理インターフェース上で「STATUS」「Printer」と選択します。
- ・現在の印刷ジョブを削除する場合は「印刷中のジョブを削除」を選択してください。すべての印刷ジョブを削除する場合は「すべてのジョブを削除」を選んでください。

他の何らかの理由で印刷ジョブがうまく印刷されない場合も、上記の手順をいったんお試しの上、状況が改善するかどうかをお確かめください。

インターネット接続関連の現象については、セクション「3.インターネット接続関連」をご覧ください。

## 2. Macintosh編

### 現象1：本製品と接続できないため設定が行えない

対策：以下の点をご確認ください。

本製品の設定が正しく行われているかどうか

LAN内の各接続が正しく行われているか

本製品の電源が入っているか

ご使用LAN上でルータをご使用の場合は、ご使用のMacintoshと本製品が同じネットワークセグメント内に設置されていることをご確認ください。

ご使用LAN内のPCまたはネットワーク機器に本製品のデフォルトIPアドレス192.168.1.1が既に設定されている場合は、いったんそのPCないしネットワーク機器の電源を切って本製品に新しいIPアドレスを割り当ててください。本製品のIPアドレス設定が終わるまで、この機器の電源は入れないでください。

ご使用のMacintoshに設定されているIPアドレスが、192.168.1.2～192.168.1.254の範囲内のものであることをお確かめください。この範囲内のアドレスですと、本製品のIPアドレス192.168.1.1と互換があるため本製品と接続することができません。また、ご使用Macintoshのサブネットマスクも255.255.255.0になっていることをご確認ください。これらの設定は、アップルメニューから「コントロールパネル」「TCP/IP」と選択することで確認することが可能です。

### 現象2：本製品に接続されているプリンタがMacintosh上で表示されない

対策：

ディスクユーティリティのメインメニューから「SYSTEM」「Printer Port」と選択し、このとき表示される画面上で「プリンタオブジェクトタイプ」の設定を確認してください。この項目が正しく設定されていないと、本製品と接続されているプリンタはMacintosh上に表示されません。ご使用プリンタ用のプリンタオブジェクトタイプ設定についてはプリンタ付属のマニュアルをご覧ください。必要な場合はプリンタの製造元とご確認ください。

各Macintosh上で、プリンタ用のドライバがインストールされているかどうかお確かめください。本製品に接続されているプリンタがLaserWriter以外のものである場合は、ネットワーク上で使用する各Macintosh上でそのプリンタ用のドライバをインストールする必要があります。プリンタのドライバがインストールされていないと、プリンタの種類が正しく選択できないため本製品のアイコンもMacintosh上で表示されません。

### 現象3：プリンタがまったく動作しないか、正しく印刷できない

対策：ディスクユーティリティのメインメニューから「SYSTEM」「Printer Port」と選択し、このとき表示される画面上で以下の点をご確認ください。

「プリンタのタイプ」が正しく設定されているか（「LaserWriterまたは互換プリンタ」か「その他…」のいずれかに正しく設定してください）

「プリンタオブジェクトタイプ」が正しく設定されていることをご確認ください。設定が間違っていると、Macintosh上で別のプリンタが選択されるおそれがあります。

#### 現象4：以前は正常に動作していたのに、プリンタから印刷できなくなった。プリンタ自体は問題ないようだが何もエラーメッセージが表示されない

対策：印刷ジョブをスプール（一時保存）するだけの十分なディスク空き容量がないと、この現象が発生する場合があります。

- ・管理インターフェース上でメインメニューから「STATUS」「Disk」と選択し、ディスク使用状況をご確認ください。空き容量不足が確認された場合は、以下の手順で印刷ジョブをいくつか削除してください。
- ・管理インターフェースのメインメニューから「STATUS」「Printer Port」と選択します。
- ・現在の印刷ジョブを削除する場合は「印刷中のジョブを削除」を選択してください。すべての印刷ジョブを削除する場合は「すべてのジョブを削除」を選んでください。

他の何らかの理由で印刷ジョブがうまく印刷されない場合も、上記の手順をいったんお試しの上、状況が改善するかどうかお確かめください。

#### 現象5：WEBインターフェース使用時、データによっては画面に入りきらないものがある。またこのときスクロールバーも表示されない。

対策：フォントサイズを小さく設定する必要があります。ブラウザ上で、「表示」メニューから「フォント」または「文字の大きさ」を選んでフォントサイズをより小さく設定してください。

### 3. インターネット接続関連

#### 現象1：クライアントコンピュータからインターネットに接続できない

対策：モデムをご確認ください。

ケーブルまたは回線が正しく接続されていることをお確かめください。

モデムの電源が入っていることをお確かめください。

本製品の設定をご確認ください。

- ・本製品の管理インターフェースに接続し、メインメニューから「INTERNET」を選択します。
- ・「Connection」タブ上で「詳細設定」アイコンをクリックし、設定内容が正しいことをお確かめください。確認が済みましたら「閉じる」をクリックしてください。（何か設定を変更している場合は「保存」をクリックしてください。）
- ・もう一度「閉じる」ボタンをクリックします。メインメニューに戻りますので、「STATUS」を選択してください。
- ・ログメッセージを参照して、何か異常が発生していないかご確認ください。ログメッセージの詳細についてはオンラインヘルプをご覧ください。
- ・ご使用の接続方法によっては、「ダイヤル」または「接続」ボタンを押す必要があります。この場合は、これらのボタンを使用して正常に接続できるかどうかご確認ください。
- ・正しく接続できる場合は、クライアントPCの設定をお確かめください。接続が行われない場合は、WAN接続かその設定に問題がある可能性があります。
- ・コンピュータの設定をお確かめください

#### TCP/IP

- ・コンピュータ上でTCP/IPプロトコルが正常にインストールされていることをご確認ください。
- ・TCP/IP設定の詳細については、Windows・Macintoshいずれかの「クライアント設定」の項をご覧ください。

## インターネット接続

- ・ダイヤルアップ接続でなく、LANでインターネットに接続するようコンピュータが設定されていることをご確認ください。

### 現象2：インターネットに接続はできるが、アプリケーションのいくつかが正常に動作しない

対策：アプリケーションによっては、1)これを「スペシャルアプリケーション」エントリとして登録する、もしくは、2)既存のエントリを有効に設定するといった作業が必要となります。

管理インターフェースのメインメニューから「INTERNET」を選択し、「Special Apps」タブを選んでください。

- ・ご使用アプリケーション用のエントリが存在する場合は、これを有効に設定してください。
- ・エントリが既に「有効にする」に設定されている場合は、その詳細設定（受信データ・送信データ設定）が正しいかどうかご確認ください。（ただしプロトコルフィールドに "n/a" と表示される場合は設定は変更できません。）
- ・ご使用アプリケーション用のエントリがない場合は、新規にエントリを作成してください。エントリ作成時に必要な情報は、ご使用のプロバイダから入手可能となっています。詳細についてはオンラインヘルプをご覧ください。

## 注意

アプリケーションの中には、「スペシャルアプリケーション」エントリを追加しても正常に動作しないものがあります。この現象は、そのアプリケーションがLANへの攻撃と判断された場合に発生します。本製品のファイアウォールは通常、疑わしい操作や動作を確認するとこれをLANへの攻撃と判断し、そのアプリケーションを遮断します。アプリケーションによっては、LANに対する攻撃なのか、無害なアプリケーションなのか区別しづらい場合があります。



# 製品仕様

## < 準拠する標準 >

IEEE802.3 10BASE-T、IEEE802.3u 100BASE-TX

全二重、半二重

## < ポート >

WAN側ポート：10BASE-T/100BASE-TX RJ-45コネクタ×1 (UTP)

LAN側ポート：10BASE-T/100BASE-TX RJ-45コネクタ×7 (UTP)

## < 対応プロトコル >

TCP/IP、AppleShare、SMB

## < LED >

前面：Ready、Error、WAN、Disk、Disk full

背面：LANポート接続ステータスLED × 16、WANポート接続ステータスLED × 2 (10/100)

## < ハードディスク容量 >

40GByte

## < プリンタポート >

D-sub 25 ピン × 1

## < シリアルポート >

RS-232C D-sub 9 ピン × 1

## < 電源 >

DC 12V (最大3.6A) AC 100 - 240V , 50/60Hz

## < 消費電力 >

52W(最大)

## < 重量(本体のみ) >

2.6kg

## < 環境 >

動作温度：5～40

保管温度：-10～60

## < 外形寸法 >

210mm(W) × 271mm(D) × 66mm(H)

## < EMI >

CE、FCCクラスB、VCCIクラスB







## ユーザー登録について

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。弊社では製品をお買い上げいただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。ユーザー登録を行っていただいたお客様には新製品情報、バージョンアップ情報、キャンペーン情報等さまざまな情報を提供させていただきます。また、製品の故障等でユーザーサポートをお受けになるにはお客様のユーザー登録が必要となります。ぜひユーザー登録を行ってくださいますようお願いいたします。

ユーザー登録は下記弊社インターネットホームページ上で受け付けております。ユーザー登録を行って戴いたお客様の中から毎月抽選でプレゼントを差し上げております。

<http://www.planex.co.jp/user/user.htm>

# 質問票

技術的なご質問は、この2ページをコピーして必要事項をご記入の上、下記FAX番号へお送りください。  
プラネックスコミュニケーションズ テクニカルサポート担当 行  
FAX : 03-5614-1018

送信日 : \_\_\_\_\_

会社名			
部署名			
名前			
電話		FAX	
E-MAIL			

製品名 Product Name.	ブロードバンドサーバ
型番 Product No.	<b>FSR-07</b>
製造番号 Serial No.	

## ①INTERFACE CARD

メーカー	
型番	

## ②ソフトウェア

ネットワークOS	バージョン
OS	バージョン

## ③ご使用のパソコンについて

メーカー			
型番			
その他使用中のカード ( SCSI / Sound Card 等 )	IRQ	I/O ADDR	



# 保証規定

ブラネックスコミュニケーションズ(株)は、本製品についてご購入日より本保証書に記載の保証期間を設けております。本製品付属の取扱説明書などに従った正常な使用状態の下で、万一保証期間内に故障・不具合が発生した場合、本保証規定に基づき無償修理・交換対応を行います。

ただし、次のような場合には保証期間内であっても有償修理となります。

1. 本保証書がない場合。
2. 本保証書に、ご購入日・お名前・ご購入代理店印の記入がない場合、または字句が改ざんされている場合。
3. 取扱上の誤り、または不当な改造や修理を原因とする故障及び損傷。
4. ご購入後の輸送・移動・落下による故障及び損傷。
5. 火災、地震、落雷、風水害、ガス害、塩害、異常電圧およびその他の天変地異など、外部に原因がある故障および損傷。
6. 他の機器との接続に起因する故障・損傷。

## 初期不良交換

保証期間発生日より1ヶ月以内の故障に関しては、初期不良交換サービスの対象となります。

お客様より初期不良である旨申告していただき、弊社がその申告現象を確認した場合に限り、初期不良品として新品と交換いたします。

ただし、検査の結果、動作環境や相性を起因とする不具合であった場合には、初期不良交換サービス対象とはなりません。

また、当サービスをご利用頂くには、お買い上げ商品の全ての付属品が揃っていることが条件になります。

### 初期不良・修理の手順(センドバック方式)

弊社は、センドバック方式による初期不良・修理対応を行っております。

1. 本製品に故障・不具合が発生した場合、下記サポートセンターまでご連絡ください。受付番号を発行いたします。

**ブラネックスコミュニケーションズ(株)**

**サポートセンター フリーダイヤル 0120-415977**

2. 受付番号を明記の上、本製品及び保証書を弊社リペアセンターまでお送りください。  
(誠に勝手ながら、修理品発送の際の送料はお客様のご負担にてお願いいたします。)
3. 当該初期不良・修理品の到着後、初期不良の場合は交換品、修理の場合は修理完了品をお送りいたします。

---

## 免責事項

- ・お客様及び第三者の故意または過失と認められる本製品の故障・不具合の発生につきましては、弊社では一切責任を負いません。
  - ・本製品の使用及び不具合の発生によって、二次的に発生した損害(事業の中断及び事業利益の損失、記憶装置の内容の変化、消失等)につきましては、弊社では一切責任を負いません。
  - ・本製品に装着することにより他の機器に生じた故障・損傷について、弊社では本製品以外についての修理費等は一切保証致しません。
- 

本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

# 保証書

保証期間 Warranty	西暦 年 月 日より 1 年間		
製品名 Product Name	ブロードバンドサーバ		
型番 Product No.	FSR-07	製造番号 Serialt No.	

個人使用      法人使用 (チェックしてください。) 個人でご使用の場合には、個人名、および住所以降の欄にのみご記入ください。			
フリガナ			
会社名			
部署名			
フリガナ			
お名前			
フリガナ			
ご住所	□□□-□□□□ 都道 府県		
TEL		FAX	
メールアドレス			
ご購入 代理店名 ・所在地			

技術的なご質問、バージョンアップ等のお問い合わせは  
お気軽に下記へご連絡ください。

なお弊社ホームページにてユーザー登録をおこなって  
いただいていない場合には、

一切のサポートは受けられませんのでご注意ください。

フリーダイヤル：0120-415977

受付時間：月曜日～金曜日（祭日は除く）

10:00～12:00・13:00～17:00

FAX：03-5614-1018

ユーザー登録：<http://www.planex.co.jp/user/user.htm>

ご質問の受付やドライバのアップデートを

下記Webサイトで行なっておりますのでご利用ください。

<http://www.planex.co.jp/>

E-MAIL:[info-planex@planex.co.jp](mailto:info-planex@planex.co.jp)

**プラネックスコミュニケーションズ株式会社**